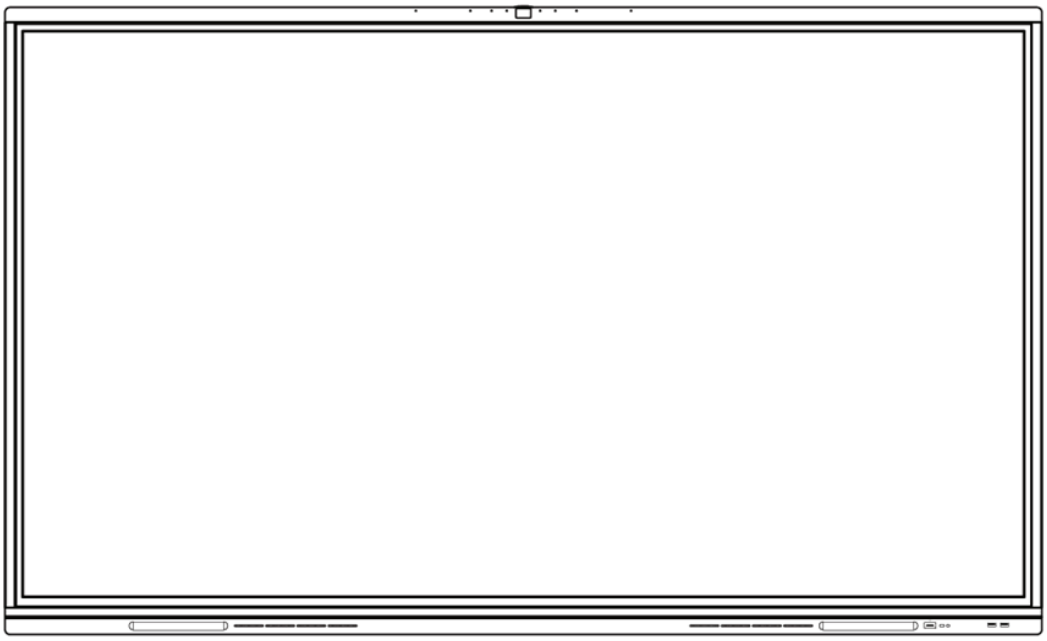


i65c01/i75c01/i86c01

インタラクティブ スマートスクリーン

取扱説明書

v 1.07

inclo株式会社

本操作説明書の内容はソフトウェアのバージョンアップ等により予告なく変更される場合があります。

目次

1. 安全上のご注意 5

2. 同梱品 7

3. 製品の外観 7

4. インターフェース 8

本体右側面 8
本体底面 9

5. 電源のオン / オフ 10

電源オン 10
電源オフ 10
画面スリープ 10
画面スリープ解除 10

6. ホーム画面について 11

7. 画面キーボードについて 13

8. ホワイトボードについて 15

① ファイル関連操作、ホワイトボード設定 15
② 描画関連操作について 18
③ ページ操作について 19

9. 画面共有について 20

Windows パソコンでの画面共有方法 20
Mac/iPad/iPhone での画面共有方法 21
Android 端末での画面共有方法 22
画面共有コントローラー 22
画面共有の各種設定 23
ゲストのパソコンなど社内 LAN に接続不可の機器との画面共有 24
ホットスポットの設定変更方法 24

10. ファイルマネージャーについて 25

ファイルマネージャー画面 26

11. クラウドドライブについて 27

クラウドドライブのアカウントの追加 27

12. 注釈モードについて 30

13. メニューについて 32

簡易設定 32
詳細設定 - オーディオ 33
詳細設定 - 画面 33
詳細設定 - 映像 33

14. Google Play ストアのインストール方法 34

15. アプリのアンインストール方法 37

16. プリインストールアプリについて 38

写真アプリ 38
ビデオプレイヤー 39
機器チェック 39

17. ツールについて 40

タイマー 41
ストップウォッチ 41
画面録画 42
画面静止 42
スクリーンショット 43
画面分割 43
カメラ 44
電卓 44
タッチロック 45
画面ロック 45
PIP（Picture In Picture） 47
サイドバーのカスタマイズ 48

18. 設定について 49

ネットワークと Bluetooth 設定 49
個人用設定 52
デバイス管理 56
システム設定 58
デバイス情報 66

19. Windows(オプション) について 68
20. Android でのリモコン操作 71
21. Windows(オプション) でのリモコン操作..... 72
22. よくある質問 73
23. 困ったときは 74
24. メンテナンスについて..... 75
25. 主な仕様..... 76
26. 知的財産権と著作権についての注意事項..... 78
27. お問い合わせ窓口..... 78

1. 安全上のご注意

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分にご理解のうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも利用できるよう大切に保管してください。

(1)設置場所について

・製品の上に重い物を置かないでください。
・製品の内部に異物を入れないでください。
・製品を熱源となる機器の近くに設置しないでください。
・製品を湿気のある場所や液体が飛散する場所に設置しないでください。
・製品を不安定な場所や傾きやすい場所、倒れやすい場所に設置しないでください。
・製品を直射日光が当たる場所や他の強い光源の近くに設置しないでください。

(2)電源について

・天候が雷雨の場合は安全のため電源コードを抜いてください。
・電源コードが物理的、または機械的な損傷を受けないようにしてください。
・電源コードの接地が確実にされていることを確認してください。
・付属の専用電源コードのみを使用し、別の電源コードや延長コードを使用しないでください。
・室内に人がいない場合や長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
・背面のラベルに記載されている電圧値が主電源の電圧値と一致しているかを確認してください。

(3)画面について

・画面内部の清掃が必要な場合はサービスセンターに連絡してください。
・画面表面の清掃をする場合は、まず電源プラグを抜いてください。
・柔らかく汚れのない綺麗な乾いた布で画面を拭いてください。
・水やスプレー式の清掃剤を使用して画面を拭かないでください。
・明るい画面を長時間表示しないでください。
・硬いもの、または鋭利なものを使って画面に書くことは避けてください。

(4)温度について

・製品が正常に動作する温度は0～40℃です。
・製品を電気ストーブや暖房器具、その他の発熱物などの熱源の近くに設置しないでください。低温の場所から高温の場所に移動する際は、製品内に結露が発生する場合があります。結露が十分に蒸発するよう、しばらく置いてから電源を入れてください。

(5)湿度について

・製品を雨や湿気の多い場所、水の近くに置かないでください。
・室内を乾燥させ、涼しい状態に保ってください。製品が正常に動作する湿度は10%～90%RHです。

（6）通気について

・製品を風通しの良い場所に置き、適切に冷却できる状態を確保してください。
・製品の周囲には左右および後方に10センチメートル以上、上部には20センチメートル以上の空間を確保してください。これにより、製品の適切な通気が確保されます。

（7）スタンバイについて

・製品の電源が入った状態で、電源ボタンを1回短く押すことで、製品をスタンバイ状態にすることができます。スタンバイ状態では、製品は完全に電源は切れていません。

（8）お手入れについて

・製品の背面には放熱孔がありますので、清掃時には直接裏側に液体を噴霧したり、こぼしたりしないでください。また、湿った布での清掃も避けてください。

（9）電源の切り方について

・製品の電源を切るには、以下のいずれかの方法でおこなうことができます。実際の製品に基づいて確認してください。
・1）電源スイッチ（本体底面）：“I” は電源オン “O” は電源オフ状態を示します。
・2）電源ボタン：電源ボタンを長押しすることで電源をオフのメッセージが表示されます。
・3）画面のツールバーの電源ボタン：ボタンをタップして電源オフを選択できます。

（10）修理に関する注意事項

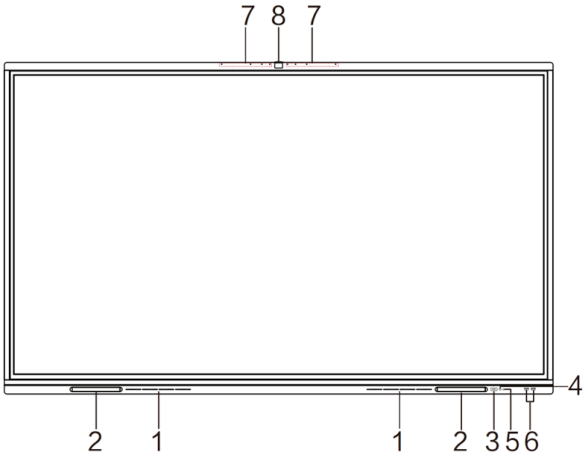
・すべての修理について、専門のサービス担当者が行います。
・製品が損傷した場合、例えば電源コードやプラグが損傷している場合、液体が製品内に入り込んだり、異物が製品内に落ちたり、製品が雨に濡れたり湿気を帯びたりして正常に動作しない場合、または本体が床に落下した場合は、専門のサービス担当者に修理を依頼してください。絶対に自分で製品を分解して修理することはしないでください。

2. 同梱品

本製品には以下の同梱品が含まれます。

1. インタラクティブスマートスクリーン本体
2. 電源ケーブル(3m) x 1本
3. タッチペン x 2本
4. リモコン 1個 (単四乾電池2本は付属しません。)
5. Wi-Fiモジュール
6. 壁掛け金具
7. スタンド固定用ネジ (M6 x 130mm) 2本
8. 説明書/保証書

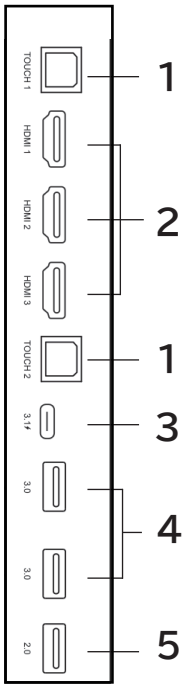
3. 製品の外観



番号	名称/機能
1	ペンホルダー(付属のペンをマグネットで固定できます。)
2	スピーカー
3	電源ボタン ・電源オフ時:短く1回押すと電源オン ・スリープ時:短く1回押すとスリープから復帰 ・電源オン時: 短く1回押すとスリープに移行 ・電源オン時: 2秒以上長押しで電源オフ
4	リモコンの赤外線受光部
5	環境光センサー
6	Type-A USB 3.0 ポート x 2個
7	マイク (8個)
8	カメラ (48MP)

4. インターフェース

本体右側面

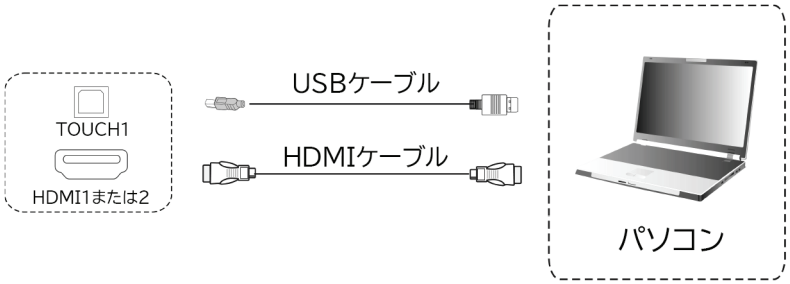


番号	名称	機能
1	USB Type-B x2	本体の画面タッチ信号をUSBで出力できます。
2	HDMI入力 x3	HDMI出力がある機器を接続できます。
3	USB Type-C x1	USB 3.1です。このポートの最大定格電力は65Wです。このポートを使用して機器を充電する場合、機器の充電電力はこのポートの定格電力を超えてはいけません。もし機器の充電電力がこのポートの定格充電電力を超える場合は、このポートを使用して充電しないでください。
4	USB3.0 Type-A x2	USBデバイスを接続できます。
5	USB2.0 Type-A x 1	USBデバイスを接続できます。

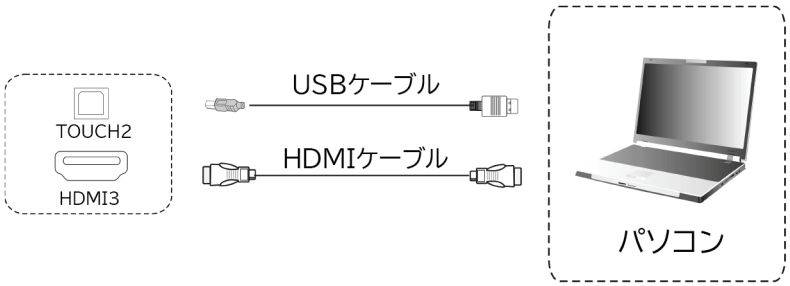
タッチ信号用のUSB Type-B端子とHDMI端子は下記の組み合わせで連動しています。
・HDMI1またはHDMI2とTOUCH1
・HDMI3とTOUCH3

HDMI入力を切り替えると、連動しているタッチ信号用のUSB入力も自動的に切り替わります。
複数のパソコンをHDMI端子とタッチ信号用USB端子に接続して、交互に入力を切り替えて使用する場合に便利です。

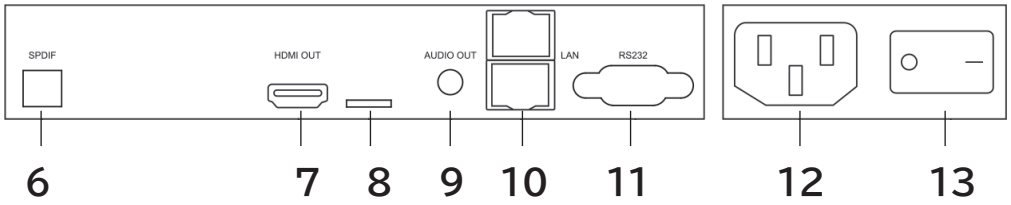
接続例1：
本製品のHDMI1またはHDMI2に接続したパソコンで、本製品のタッチパネルをタッチデバイスとして使用する場合はTOUCH1端子を使用します。



接続例2：
本製品のHDMI3に接続したパソコンで、本製品のタッチパネルをタッチデバイスとして使用する場合はTOUCH2端子を使用します。



本体底面



番号	名称	名称/機能
6	SPDIF出力	光音声出力
7	HDMI出力	HDMIで外部ディスプレイに出力できます。
8	TFカードスロット	microSDカードの読み書きができます。
9	オーディオ出力	3.5mm ステレオミニジャック
10	RJ45 x 2	有線LANインターフェース（ハブ機能あり）
11	RS-232C	RS-232C通信用
12	電源プラグ	電源コードを接続します。
13	主電源スイッチ	本体の主電源スイッチです。”I”が電源オン、”O”が電源オフ。

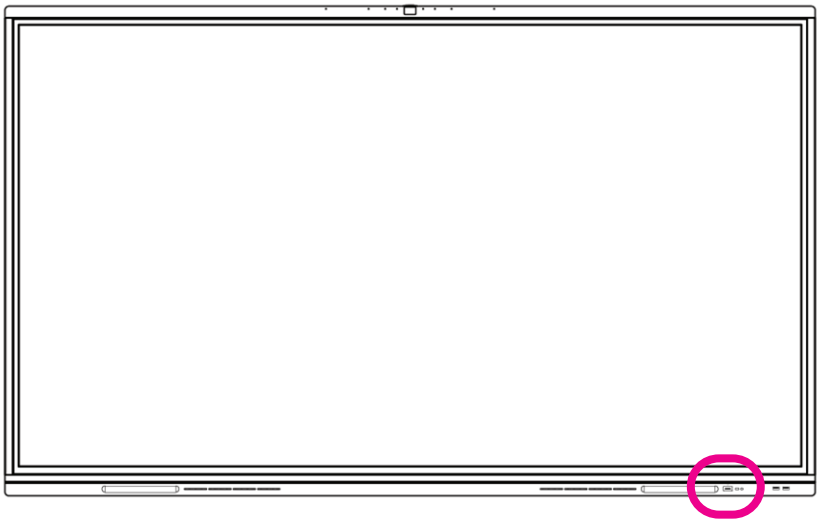
5. 電源のオン/オフ

電源オン

1. 電源コードの本体差し込みプラグを本体底面の差し込み口にしっかりと差し込みます。
   電源コードのもう一方の電源プラグをコンセントに差し込みます。

2. 本体底面の主電源スイッチをオンにします。本体前面の電源ボタンのLEDがオレンジに
   点灯します。

3. 本体前面の電源ボタンを短く押すとボタンのLEDがオレンジから青になり電源が入ります。



電源オフ

電源ボタンを長押しします。システム終了の確認メッセージが表示されます。
キャンセルしない場合は10秒後に電源がオフになります。
（画面上のサイドバーの電源ボタンからも電源をオフにすることができます。）

長時間使用しない場合は主電源をオフにして電源コードを取り外してください。

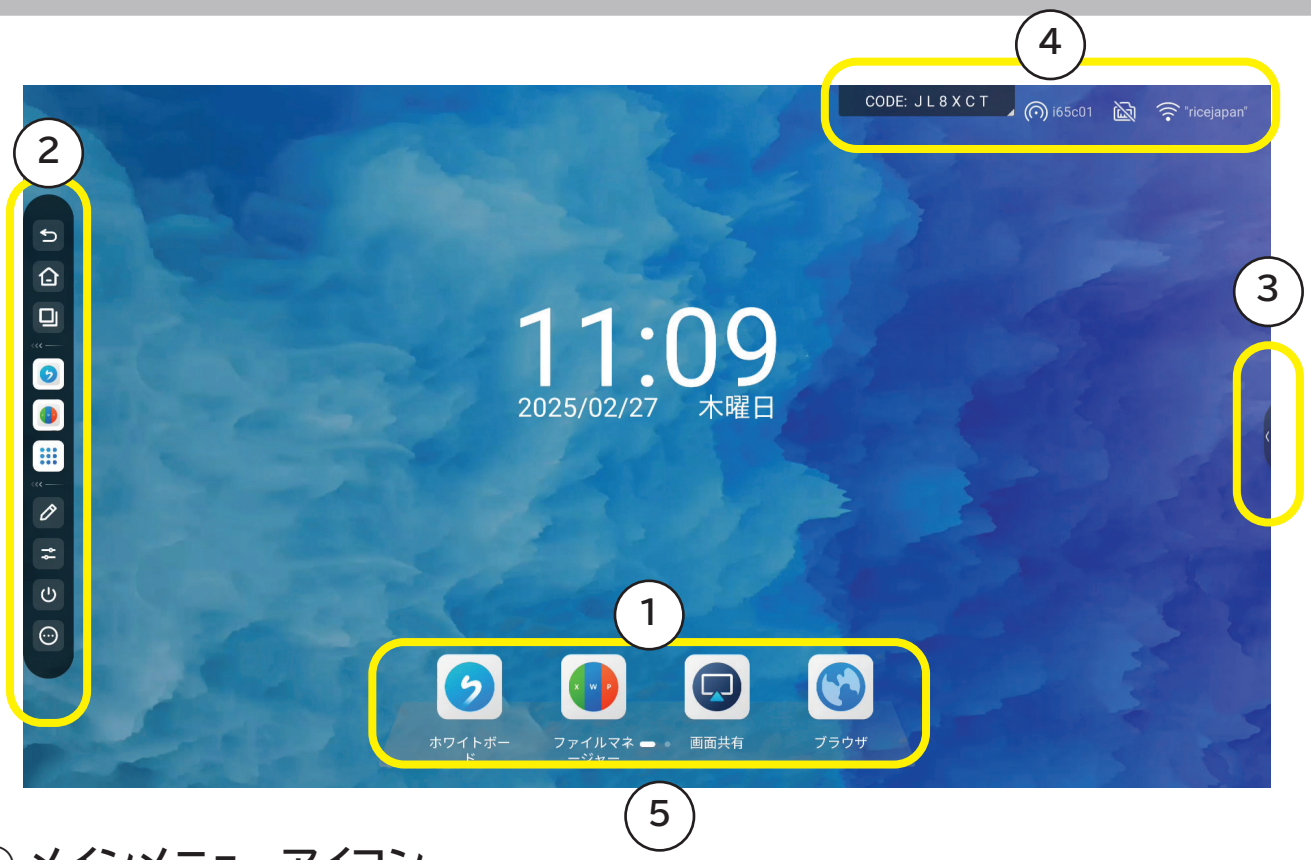
画面スリープ

電源ボタンを短く一度押すと電源ボタンが青とオレンジに点滅して画面がスリープします。
（後述の画面上のサイドバーの電源ボタンからも画面をスリープすることができます。）

画面スリープ解除

画面がスリープしている状態で電源ボタンを短く一度押すと画面のスリープが解除されます。
画面をタップ、またはHDMIやType-Cに入力信号があった場合にスリープが解除されます。

6. ホーム画面について



① メインメニューアイコン

ホワイトボード: ホワイトボードを開きます。

ファイルマネージャー: ファイル操作のためのファイルマネージャーを開きます。

画面共有: 画面共有についての情報確認および設定ができます。

ブラウザ: ブラウザを開きます。

②/③サイドバー（タップすると表示されます。左右で表示される内容は同じです。）

戻る: 一つ前に開いていたアプリ、またはホーム画面に戻ります。

ホーム: ホーム画面に戻ります。

タスクリスト: 現在開いているアプリや外部入力を表示し、選択、終了することができます。

ホワイトボード: ホワイトボードを開きます。

ファイルマネージャー: ファイルマネージャーを開きます。

アプリ一覧: インストールされている全てのアプリを表示します。

注釈: 注釈モードを開始します。

簡易設定: 入力切替(Windowsへの切替)や音声・映像の調整ができます。

電源: 再起動、スリープ、電源オフの操作ができます。

ツール: 各種ツールを開きます。

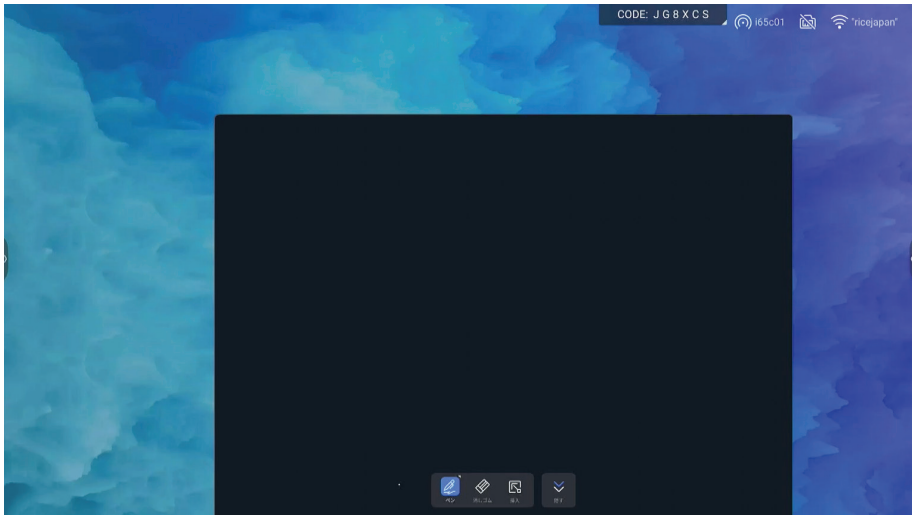
④ ステータスアイコン、画面共有コード表示

ステータスアイコンでは無線LANの接続先、有線LANの接続有無、本体のホットスポット名、USBメモリの取り付け状況が表示されます。

⑤ 簡易メモを開く

画面中央下の端の部分をタップして上にスワイプすることで簡易メモを開くことができます。

簡易メモに描いた内容はホワイトボードに挿入することができます。



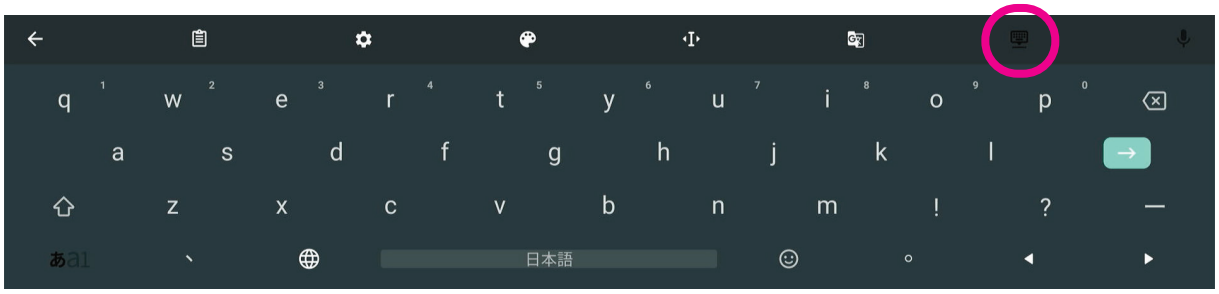
7. 画面キーボードについて

文字を入力するための画面キーボードは、英字入力用のAndroidキーボード(AOSP)と、日本語入力用のGboardがプリインストールされています。

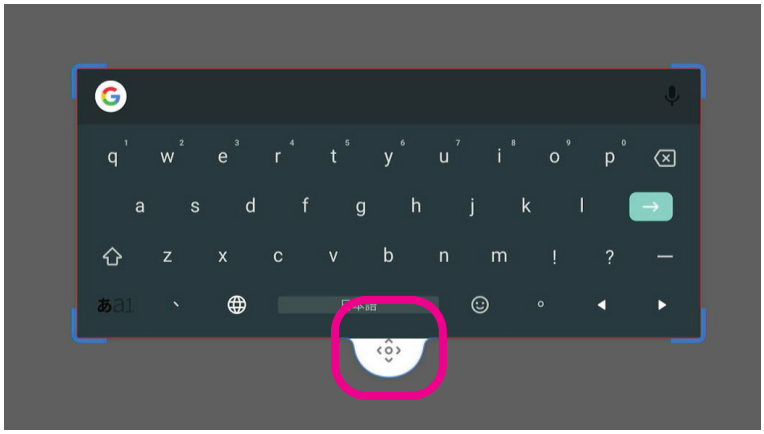
初めて日本語文字入力をする際は、下記の入力レイアウトの選択画面が表示されます。
好みのレイアウトを選択して「完了」をタップしてください。

デフォルトの状態では画面の下部を占有してしまうので、下記の手順でフローティングキーボードに切り替えると使いやすくなります。

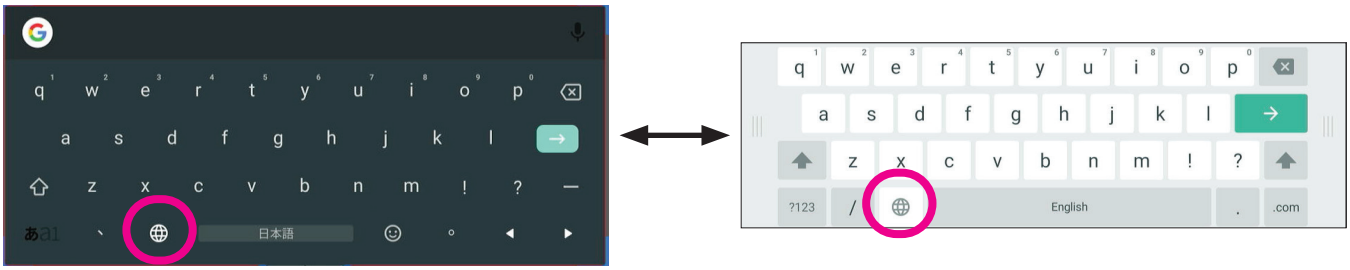
キーボードの左上にあるGoogleアイコンをタップします。



オプションから「フローティング」アイコンを選択します。
キーボードがフローティングになり、下記の印の部分をドラッグすることで、画面上の任意の場所に移動することができます。



地球のマークをタップすると日本語キーボードと英語キーボードが切り替わります。

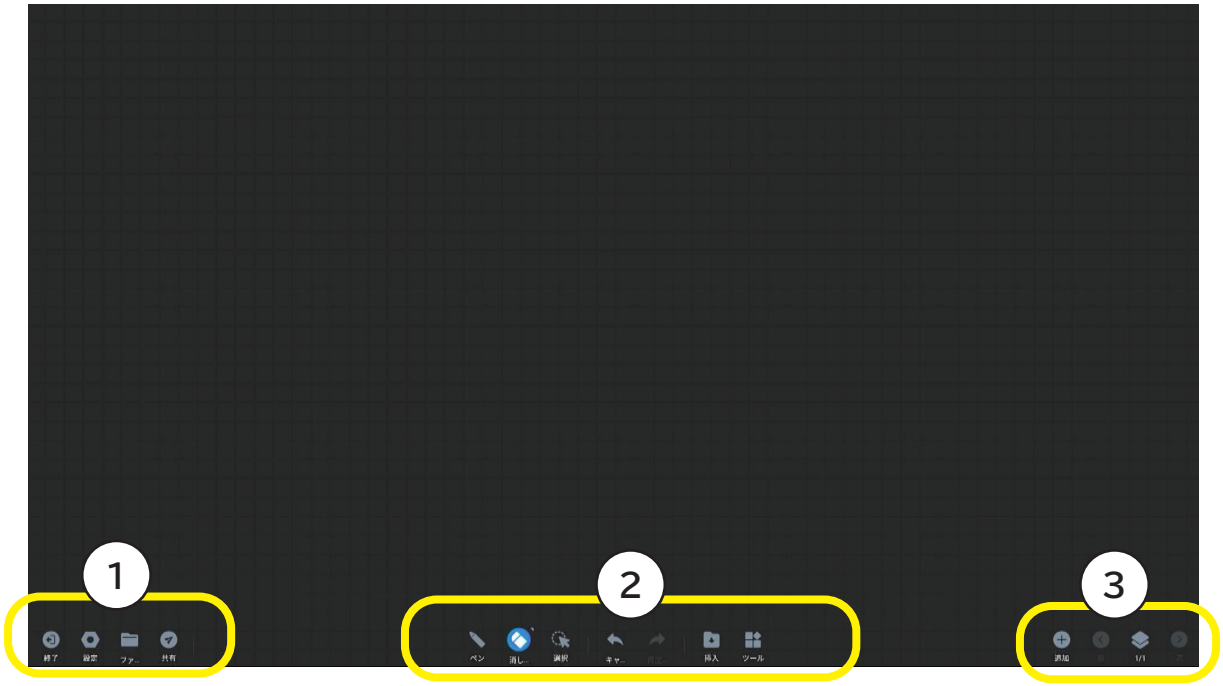


英語キーボードの場所を移動するには、下記の印の部分どちらかをドラッグします。

注意：
GboardはGoogleが提供するキーボードです。Googleのソフトウェアの更新によりGboardの見た目や機能が変更される場合があります。上記は製品リリース時の説明となります。
Gboardの使い方の詳細はGoogleのヘルプを参照してください。
https://support.google.com/

8. ホワイトボードについて

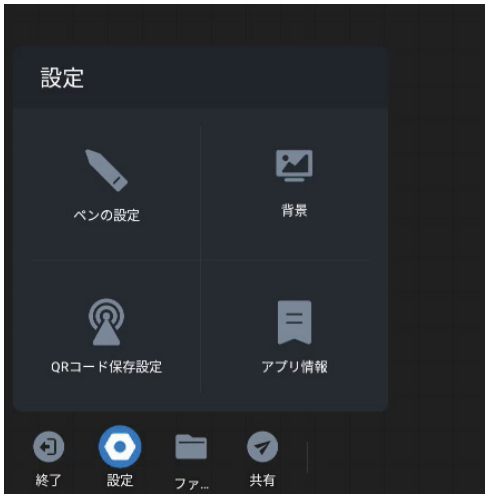
ホワイトボードでは付属のペンを使って画面上に自由に文字や図形を描画できます。
画像やPDFを貼り付けて、その上に描画することもできます。描いた内容はホワイトボード文書ファイルやPDF として保存することができます。



① ファイル関連操作、ホワイトボード設定

終了: ホワイトボードを終了します。
未保存の文書がある場合は保存するかどうかを選択できます。

設定: ホワイトボードの各種設定をおこないます。



ペンの設定

設定項目	機能
マルチライティング	複数のペンで同時に描画が可能になります。マルチライティングが有効の場合、ページズームは無効になります。
2色モード	付属のタッチペンの両端に異なる色を設定できます。それぞれのペン先でペンの色を指定する必要があります。
スマートモード	手書きで描いた図形が自動で補正されます。マルチライティングまたは2色モードと同時に設定することはできません。

背景

設定項目	機能
色	ホワイトボードの背景色を4色の中から選択できます。ページごとに背景色を変更できます。デフォルトの背景色は変更できません。
背景のグリッド	ホワイトボードの背景のグリッドを選択できます。ページごとに異なるグリッドを指定できます。デフォルトのグリッドは変更できません。

QRコード保存設定

設定項目	機能
イントラネット経由で保存	ホワイトボードの文書を本体から直接LAN経由で保存します。QRコードを読み取る機器は本体と同じLANに接続している必要があります。QRコードの有効期間は1時間です。1時間経過後は文書は本体から自動的に削除されます。

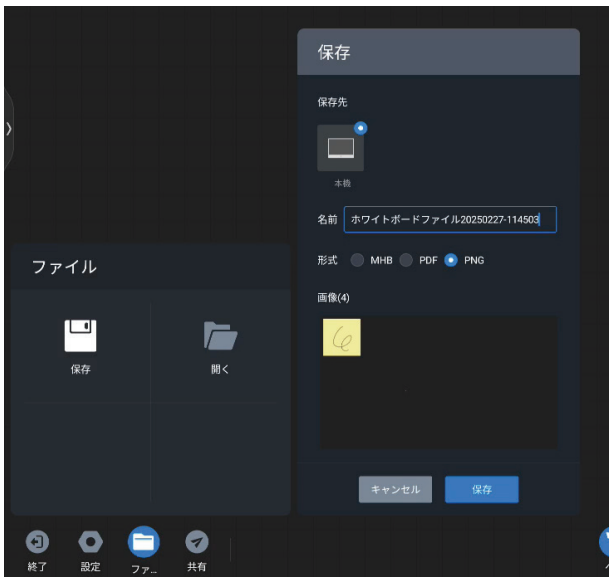
アプリ情報

設定項目	機能
ソフトウェアの更新	新しいバージョンがリリースされた場合、ここからアプリを更新することができます。
オープンソースライセンス	アプリで使用されているオープンソースのライセンスについての情報を確認できます。

ファイル

ホワイトボードで描画した文書の保存、またはホワイトボードの文書データを開くことができます。

保存: ファイルの保存先は本体内の内蔵ストレージ、または本体に取り付けたUSBメモリ内となります。



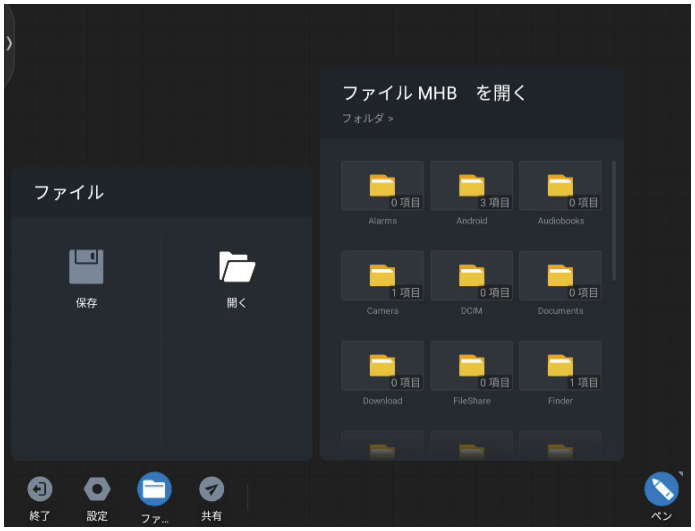
保存形式

MHB: ホワイトボード文書として保存されます。あとから追加の描画やオブジェクトの削除や追加などをホワイトボードで編集できます。

PDF: 文書をPDFとして保存します。あとから編集することはできません。

PNG: 文書をPNGとして保存します。あとから編集することはできません。

開く: 本体の内蔵ストレージまたは本体に取り付けたUSBメモリ内のMHB形式ファイル（ホワイトボード文書形式）を選択して開くことができます。



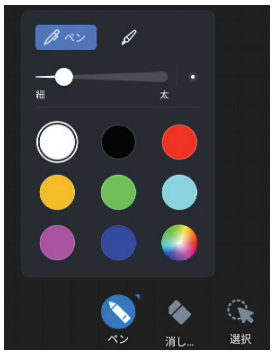
共有

ホワイトボードで描画した文書を、PDFでモバイル端末にダウンロードすることができるQRコードを生成して表示します。

② 描画関連操作について

ペン

ペンの種類（ペンまたは筆）と線の太さ、色を設定できます。2色モードを有効にした場合は、ペンの両端それぞれでペンの種類を設定します。



消しゴム

描画された内容を消すことができます。「囲む」を選択すると囲んだ範囲の内容が消去されます。「クリア」ボタンをスライドさせるとページ内のすべての内容が消去されます。

<u>消しゴムを選択しなくても、画面上の消したい部分を手のひらで拭くようにすると描画内容を消すことができます。</u>

選択： 描画された内容やオブジェクトを囲んで選択し、「移動」（他のページに移動）、「コピー」、「削除」することができます。

戻る： 直前の操作を取り消します。

進む： 取り消された操作を再度実行します。

挿入： テーブル（表）、図形、画像、ファイル（PDF）、マルチメディア（動画を読み込み、静止時の画像）などのオブジェクトを文書内に配置することができます。

③ ページ操作について

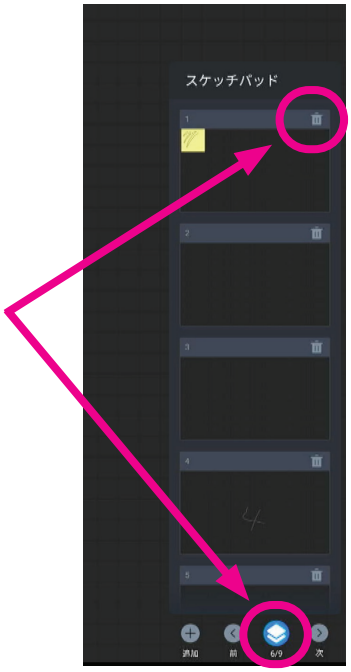
追加： タップすると現在のページの次にページが追加されます。

<u>総ページ数の最大は20ページです。</u>

前： 前のページに移動します。

1/1： 現在のページが全体の何ページ目かを示しています。
タップするとページ一覧（スケッチパッド）が表示されます。
スケッチパッド内のページサムネイルのゴミ箱をタップするとそのページを削除することができます。

前： 前のページに移動します



9. 画面共有について

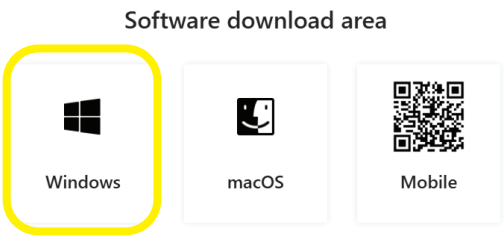
画面共有機能とは、パソコンやタブレット、スマートフォンの画面を、無線で本製品の画面に表示する機能です。**画面共有したい機器は、必ず本製品と同じローカルネットワーク、または本製品のホットスポットに接続されている必要があります。**

Windowsパソコン、Androidスマートフォン/タブレットでは専用のソフトウェアをインストールする必要があります。Apple製品はOS標準機能の「画面ミラーリング」で画面を共有できます。

Windowsパソコンでの画面共有方法

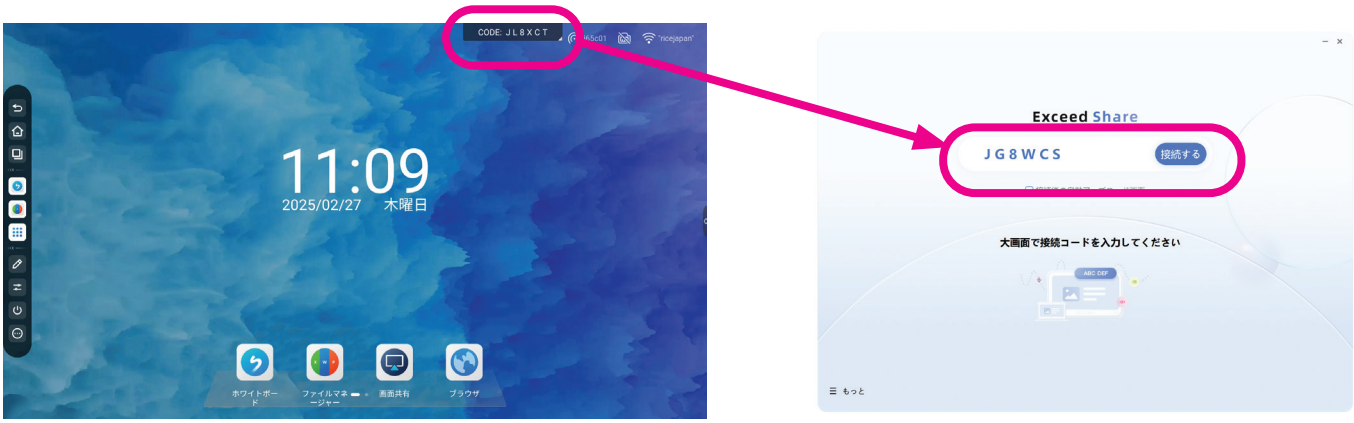
初めて画面共有をおこなう場合は事前に画面共有のためのソフトウェア「Exceed Share」のWindows版を下記のURLからダウンロードしてインストールします。

https://www.meeting-vip.com/#/download

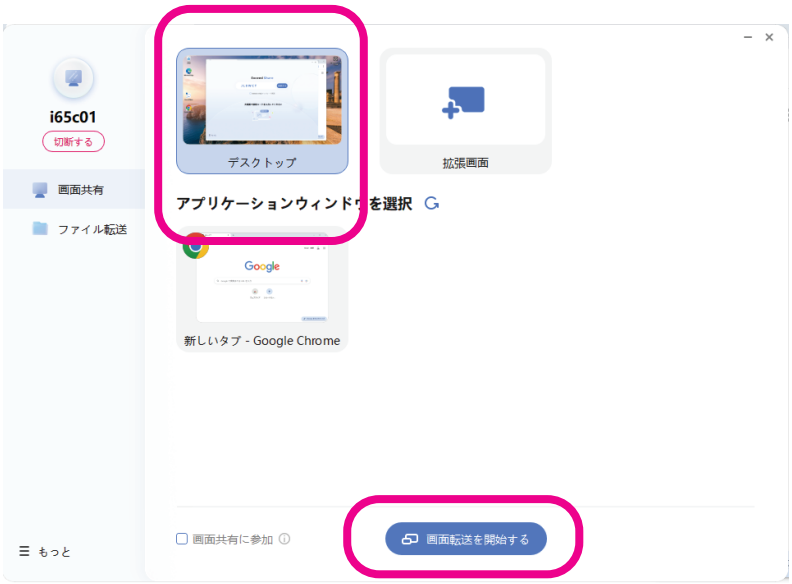


画面共有の方法

インストールしたExceedShareを起動して、本製品の画面上に表示されている6桁の接続コードを、入力して「接続する」をクリックします。



画面共有するウィンドウ、または拡張画面を選択して「画面転送を開始する」をクリックして
Windowsの画面の画面共有を開始します。



画面共有中は画面上のタッチ操作が共有元のWindowsパソコンに反映されるリバースタッチコントロールが有効になります。

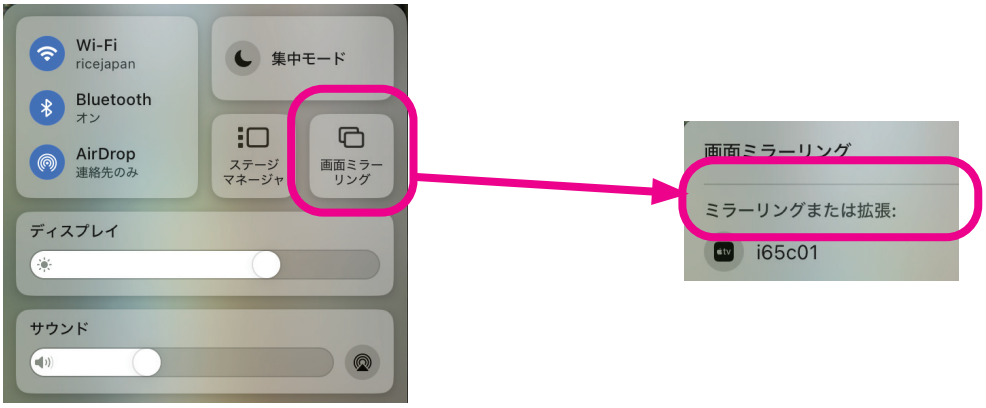
ファイル転送

Exceed Shareで接続中は、Windowsパソコンのファイルを本製品に転送することができます。
WindowsパソコンでExceed Shareのメイン画面を開き、「ファイル転送」を選択します。
転送したいファイルをドラッグ&ドロップして送信します。

ファイル転送をおこなうと、本製品の画面にはファイル共有の通知が表示されます。受信する場合は「承認」を選択します。20秒以内に承認されない場合、ファイル共有は拒否されます。

Mac/iPad/iPhoneでの画面共有方法

OS標準のミラーリング機能で画面共有ができます。コントロールセンターを開き、「画面ミラーリング」を選択します。ミラーリングする機器として本製品を選択すると画面共有が開始されます。
Macの拡張画面として使用する場合は「画面ミラーリング」のウィンドウにある「ディスプレイ設定」で変更できます。



Android端末での画面共有方法

本製品のホーム画面から「画面共有」を選択、または接続コード表示部分をタップして表示されるウィンドウの「ご利用手順」をタップして画面共有の情報画面を表示します。モバイル端末向けアプリのQRコードをスマートフォン/タブレットで読み取り、アプリをダウンロードしてインストールします。

注意:アプリはapk形式のファイルでダウンロードされます。不明なアプリとしてインストールができない場合は、設定で不明なアプリのインストールを有効にしてください。

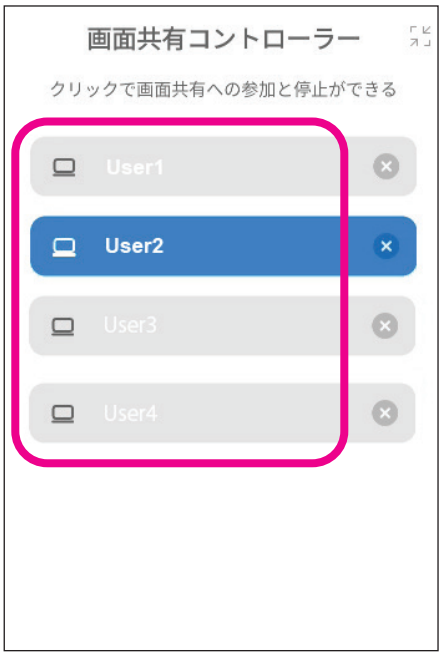
インストールしたアプリ「Exceed Share」を開き、本製品の接続コードを入力して接続することでAndroidの画面を本製品と共有できます。

画面共有コントローラー

画面共有コントローラーでは、本製品に画面共有で接続している機器の画面への表示、非表示、本製品からの切断ができます。接続コードを表示しているバーの数字の部分をタップして画面共有コントローラーを開くことができます。

現在の画面共有への接続数は接続コードの左側に表示されます。この部分をタップすると画面共有
コントローラーが開きます。

現在の接続数



×をタップすると接続している機器を切断できます。

接続機器名の部分をタップして指定したユーザーの画面の表示/非表示を切り替えることができます。
本製品は最大4つの機器の画面共有を同時に表示できます。(4分割表示)

青:表示中
グレー:非表示

画面共有コントローラーを閉じるには、画面共有コントローラーのウィンドウ以外の場所をタップします。

画面共有の各種設定

画面共有の接続コードを表示している部分をタップするか、またはホーム画面から「画面共有」をタップすると画面共有の情報画面が開きます。右上の歯車マークで画面共有に関する各種設定を開くことができます。

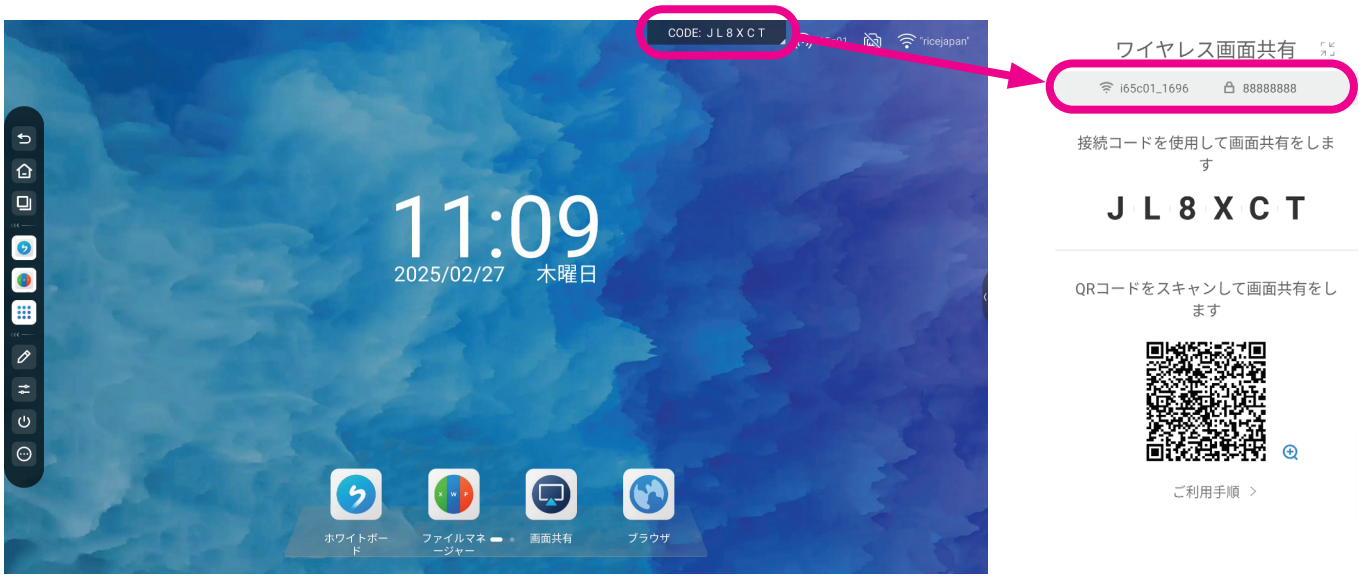
設定で変更可能な内容

- LAN経由での本製品の検出可能の可否
- 画面の接続コードの表示変更
  よく現れる(常に表示)、スクリーンショット時に隠す、非表示
- ホットスポットのパスワード表示の有無

ゲストのパソコンなど社内LANに接続不可の機器との画面共有

セキュリティの関係で本製品が接続されている社内LANと同じネットワークに接続できない機器を画面共有する場合、本製品のホットスポット機能を有効にして、機器を本製品と直接無線で接続することで画面共有が可能になります。

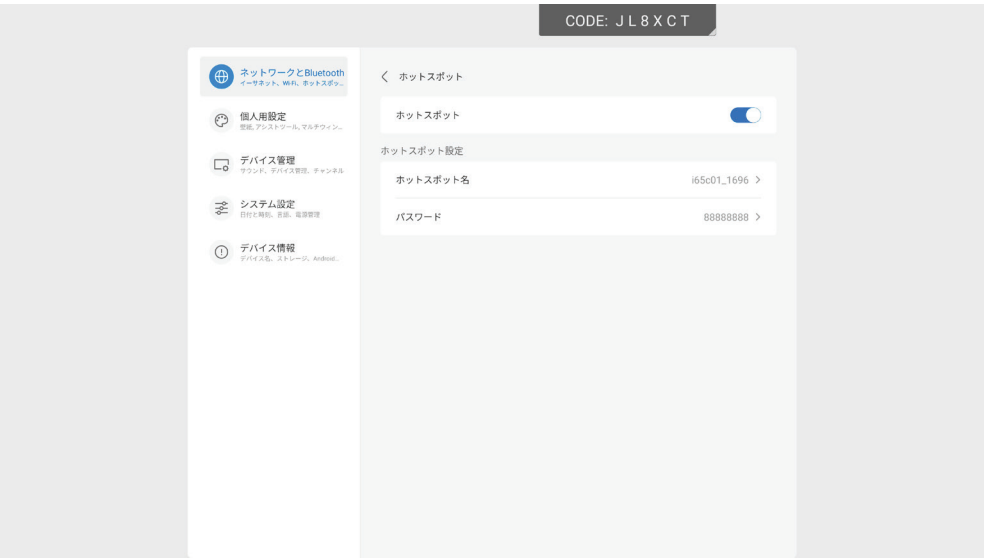
ホットスポットの情報は接続コード表示部分をタップしてワイヤレス画面共有を開いて確認できます。



ホットスポットの設定変更方法

ホーム画面の右上のホットスポットアイコンをタップするとホットスポットの設定画面が開きます。

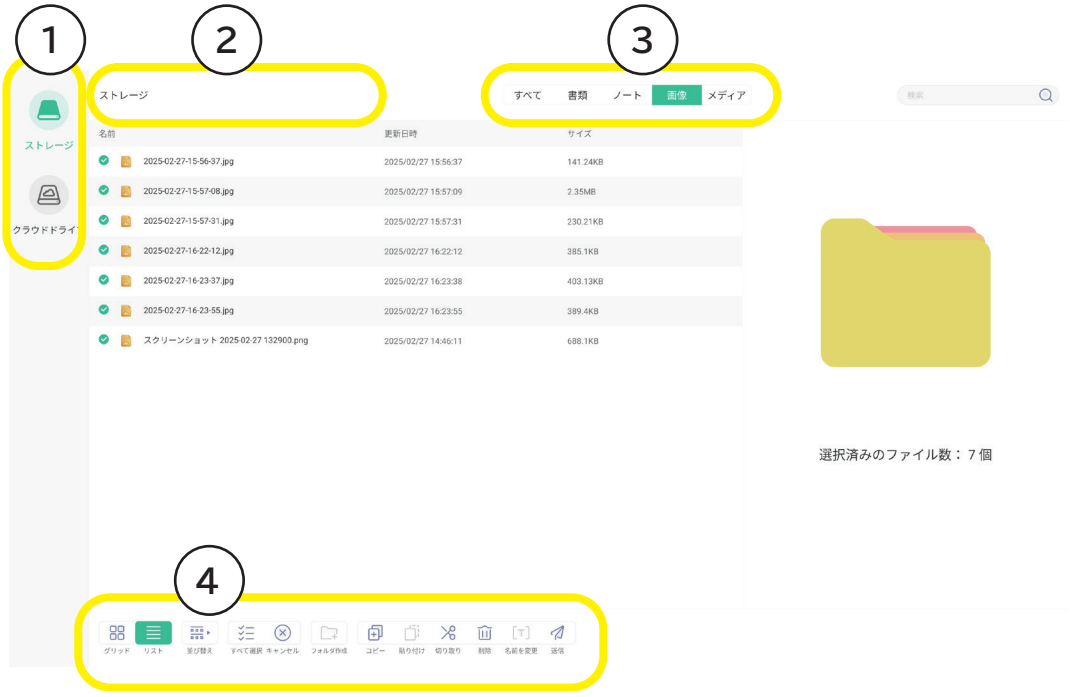
ホットスポット設定画面ではホットスポットの有効/無効、名称変更、パスワードの変更ができます。
ホットスポットには最大8台まで同時に接続できます。



10. ファイルマネージャーについて

ファイルマネージャーは、本製品の内蔵ストレージや、本製品に取り付けたUSBメモリおよびクラウドドライブ(Google DriveまたはOne Drive)でファイル操作をおこなうためのアプリです。
ホーム画面またはサイドバーから「ファイルマネージャー」をタップして開きます。

ファイルマネージャー画面



① ストレージを選択して内容を表示します。「ストレージ」(内蔵ストレージ)、クラウドドライブ(Google Drive/One Drive)、USBメモリ(本体に取り付けた場合)の3つがあります。

② ストレージのパス。「＜」をタップすることで上の階層に移動できます。

③ 表示するファイルの種類のフィルターです。選択したファイルの種類に絞って表示されます。

④ 以下の表示オプション、ファイル操作をおこなうことができます

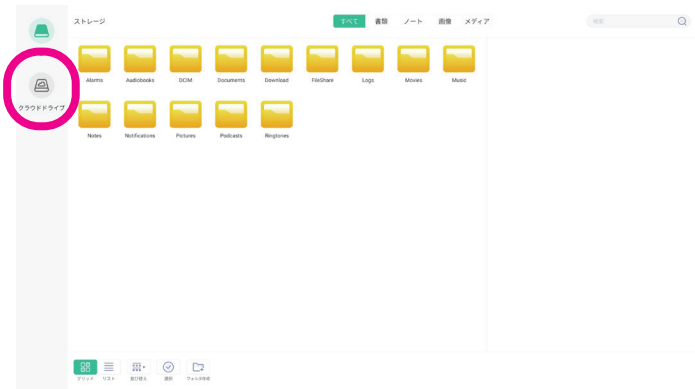
項目	機能
グリッド	フォルダ、ファイルをグリッドで表示します。
リスト	フォルダ、ファイルをリストで表示します。
並び替え	名前、日時、サイズ、種類で並び替えできます。
選択	操作対象のファイルを選択するときに選びます。ファイル/フォルダを個別にタップして選択するか「すべて選択」を選ぶとフォルダ内のファイル/フォルダがすべて選択されます。選択を解除するには「キャンセル」をタップします。
フォルダ作成	現在のフォルダ内に新しいフォルダを作成します。
コピー	選択されているファイル/フォルダをコピーします。
貼り付け	コピーされているファイル/フォルダを、コピー先のフォルダに貼り付けます。
切り取り	選択されているファイル/フォルダを切り取ります。
削除	選択されているファイル/フォルダを削除します。
名前を変更	選択されているファイル/フォルダの名前を変更します。
送信	選択されているファイル/フォルダをメールで送信します。(要メール送信設定)

11. クラウドドライブについて

クラウドドライブにアカウントを追加すると、本製品の内蔵ストレージとクラウドドライブ間でファイルのやり取りができるようになります。
クラウドドライブは**Google Drive**と**One Drive**に対応しています。あらかじめパソコン等でアカウントを作成しておき、本製品でログインしてください。

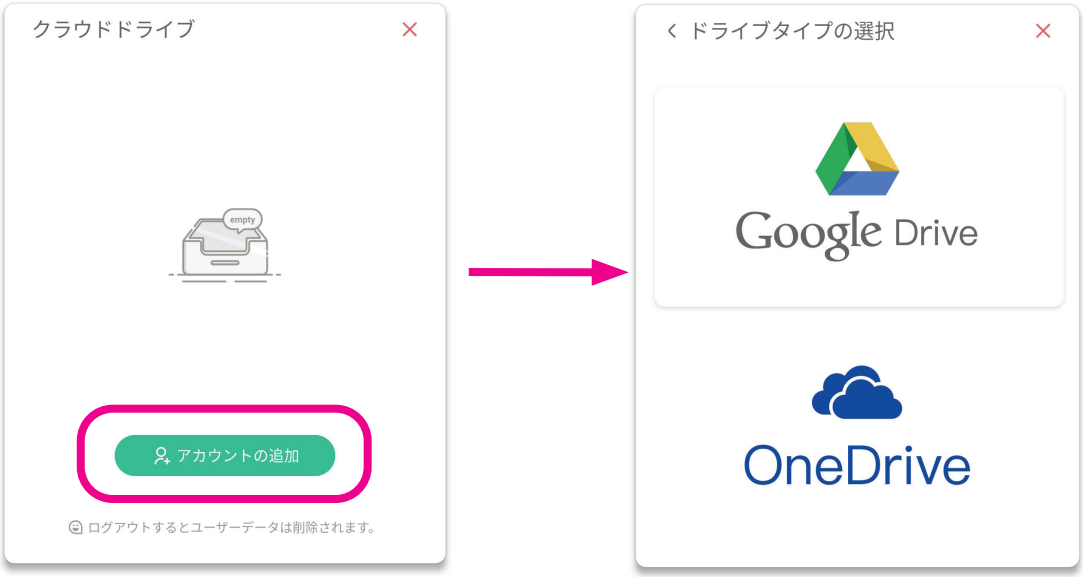
クラウドドライブのアカウントの追加

サイドバーの「すべてのアプリ」から「クラウドドライブ」を選択するか、または「ファイルマネージャー」から「クラウドドライブ」を選択します。



クラウドドライブのアカウント情報のウィンドウが表示されるので「アカウントの追加」（ファイルマネージャーの場合は「追加」をタップします。） をタップします。

ドライブタイプの選択が表示されるので、ご利用になるドライブを選択します。クラウドドライブには複数のアカウントを追加できます。Google Drive, OneDriveの両方追加することも可能です。



追加するドライブタイプに応じて、アカウント情報を入力してください。

Google Driveの場合

1. アカウント名を入力

2. パスワードを入力

3. 続行

4. アクセスの許可

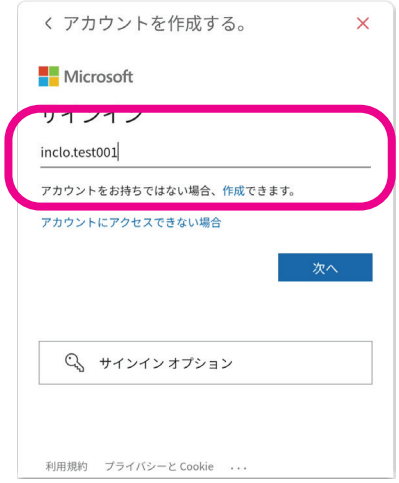
5. 内容を確認して続行

ウィンドウ内をスワイプして下にスクロールします。

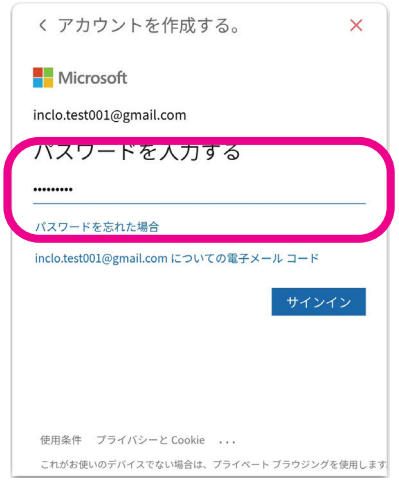
クラウドドライブとしてGoogle Driveのアカウントが追加され、ファイルマネージャーでファイルのやり取りができるようになります。

OneDriveの場合

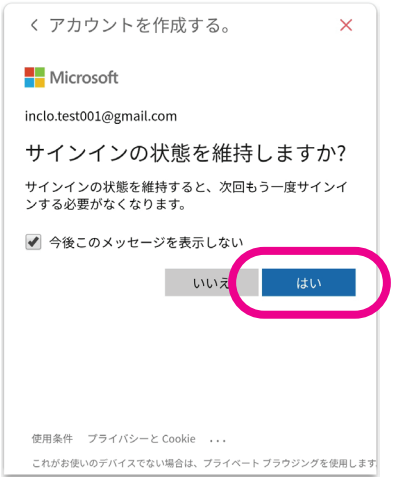
1. アカウント名を入力



2. パスワードを入力



3. 「はい」を選択



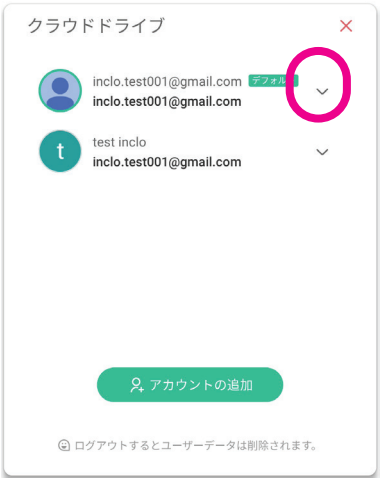
クラウドドライブとしてOneDriveのアカウントが追加され、ファイルマネージャーでファイルのやり取りができるようになります。

クラウドドライブからのログアウト方法

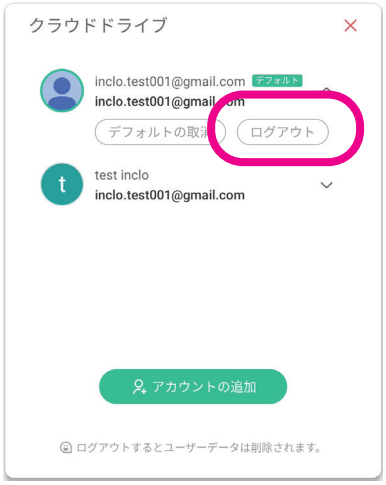
クラウドドライブとして追加したアカウントは以下の方法で削除(ログアウト)することができます。

「すべてのアプリ」から「クラウドドライブ」を開きます。

1. ログアウトするアカウント名の右側の下矢印をタップします。



2. ログアウトを選択します。



3. OKを選択します。

クラウドアカウントからログアウトされ、本製品へのアカウントの登録が削除されます。アカウントからログアウトすると、キャッシュファイルやユーザーデータは本製品からすべて削除されます。

12. 注釈モードについて

注釈モードではAndroidアプリ、外部入力、Windows(オプション)など任意の画面上にペンで自由に描画することができ、描いた内容をPNG画像として保存、共有することができます。

注釈モードはサイドバーの「注釈」を選択して起動します。

左のサイドバーから起動した場合は画面左下に、右サイドバーから起動した場合は画面右下に注釈モードメニューが表示されます。

注意： 注釈モードの起動中はサイドバーは非表示となり、他の操作はできません。他の操作をする場合は注釈モードを終了してください。

注釈メニューについて

ペンの設定

ペンの太さと色を選択できます。

消しゴム

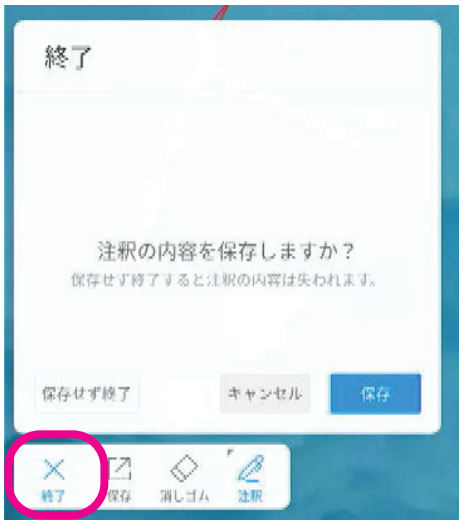
消しゴムを選んでペンで画面上をなぞると描画されている部分を消すことができます。
クリアボタンをスライドすることで描画されているすべての内容を消去できます。

保存

保存：描画内容をPNGファイルで本製品の内蔵ストレージに保存できます。
共有：描画内容をPNGファイルでモバイル端末にダウンロードするためのQRコードを表示します。

終了

注釈モードを終了します。未保存のデータがある場合は保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。「保存せずに終了」を選択すると保存せずに終了します。



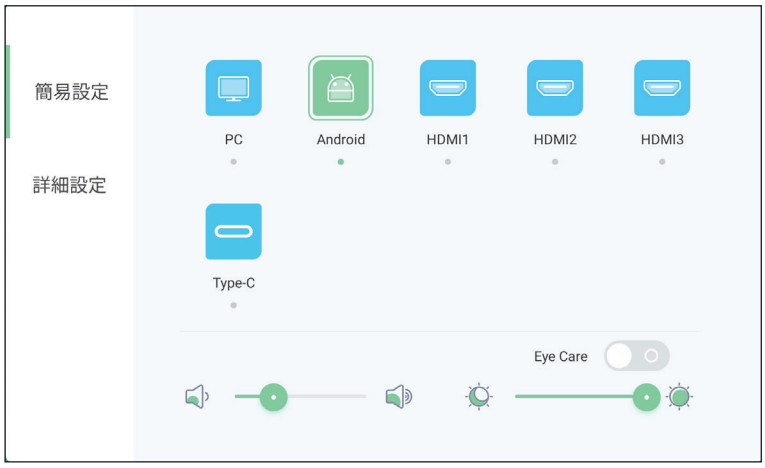
13. メニューについて

入力切替や、本製品の映像、音声の設定をおこなうことができます。

サイドバーから「メニュー」を選択します。

簡易設定

Android、Windows(オプション)、HDMI入力、Type-C入力を切り替えることができます。また音量と画面輝度の調整、Eye Careの有効/無効の切り替えができます。



Eye Careを有効にするとブルーライトの軽減し輝度を調整して目が受ける疲労を軽減します。

詳細設定-オーディオ

使用場所に合わせてプリセットされたオーディオ設定を選択できます。また、「カスタマイズ」を選んで好みのオーディオ設定に調節することができます。

詳細設定-画面

画面に関する詳細設定です。設定可能な項目は「自動調整」と「省電力」のみです。
自動調整を有効にした場合、周囲の環境高に合わせて輝度が自動で調整されます。
省電力を設定すると画面の輝度を下げて消費電力を抑えることができます。

詳細設定-映像

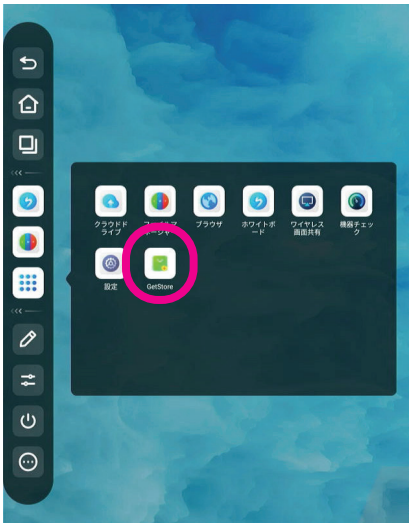
画面の色味を「標準」、「寒色」、「暖色」のいずれかに設定できます。
グレーの表示になっている設定項目は調整できません。

14. Google Playストアのインストール方法

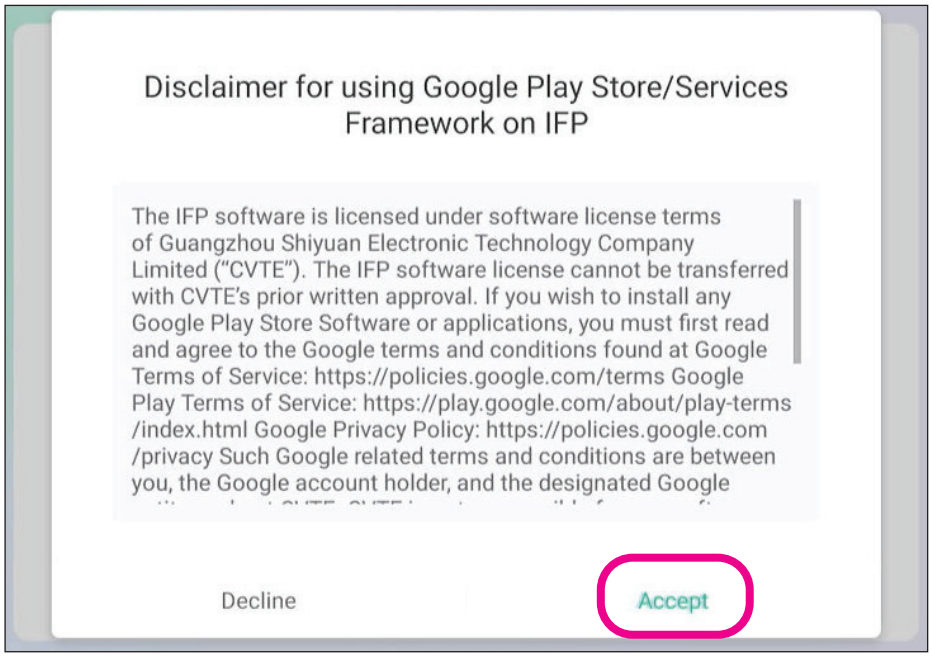
本製品にはPlayストアはプリインストールされていませんが、GetStoreアプリを使ってPlayストアをインストールすることができます。

1. 本製品をネットワークに接続します。
   ネットワークの設定方法は50ページを参照してください。

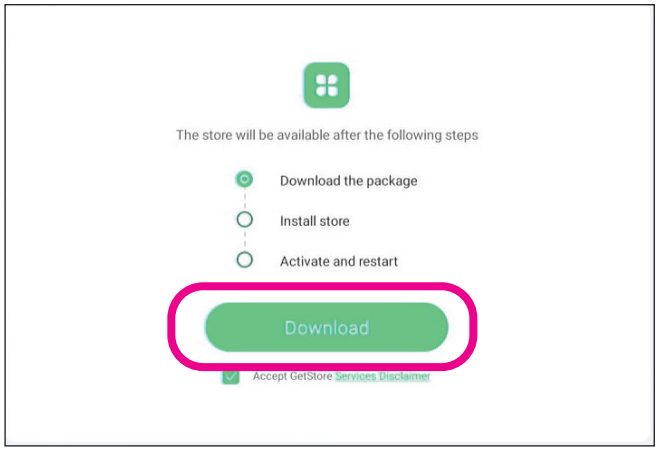
2. アプリ一覧から「GetStore」を開きます。(このアプリは英語表記のみとなります。)



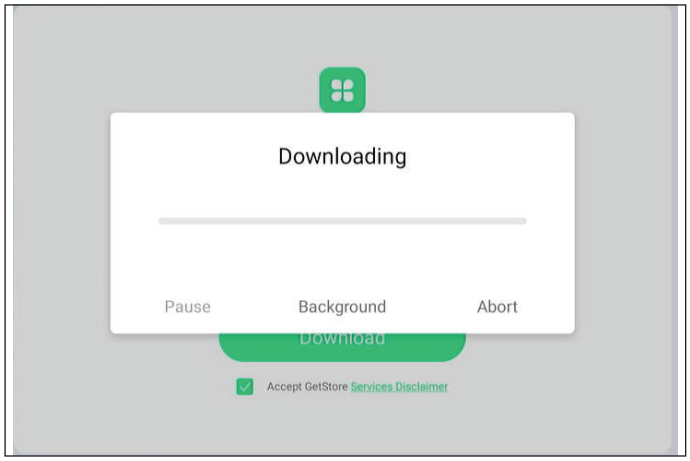
3. Google Play ストア／サービスの利用に関する免責事項が表示されます。同意する場合は「Accept」 をタップして次に進みます。



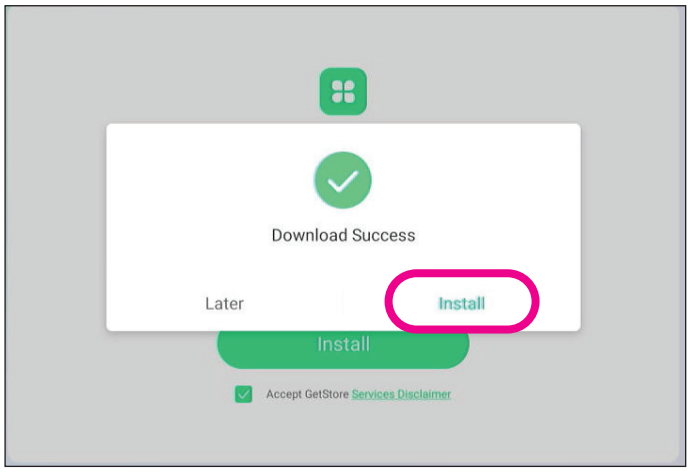
4. 「Download」をタップしてインストールに必要なデータのダウンロードを開始します。



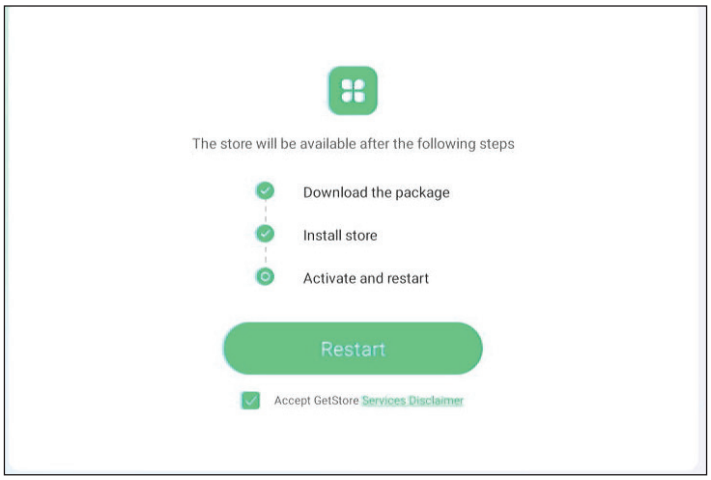
5. ダウンロードが開始されます。



6. ダウンロードが完了したら、「Install」をタップしてインストールを開始します。



7. インストールが完了すると、下記の画面が表示され、本製品は自動的に再起動します。

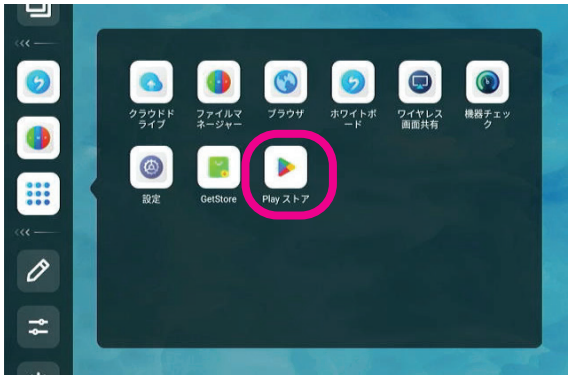


8. 本製品の再起動後は自動的にGoogle Playストアが開きます。Playストアのインストール直後はバックグラウンドでPlayストアの更新が行われ、Playストアが自動的に何度か再起動する場合があります。英文でその趣旨のメッセージが表示された場合は×をタップして閉じてください。

9. 「ログイン」をタップしてGoogleアカウントでGoogle Playストアにログインしてください。

Googleアカウントは事前に作成してください。
Googleアカウントの作成方法、Google Playストアへのログイン方法の詳細に関してはGoogleのヘルプを参照してください。
https://support.google.com/

10. Google Playストアのインストール後はアプリ一覧にPlayストアが表示され、Playストアを開くことができるようになります。

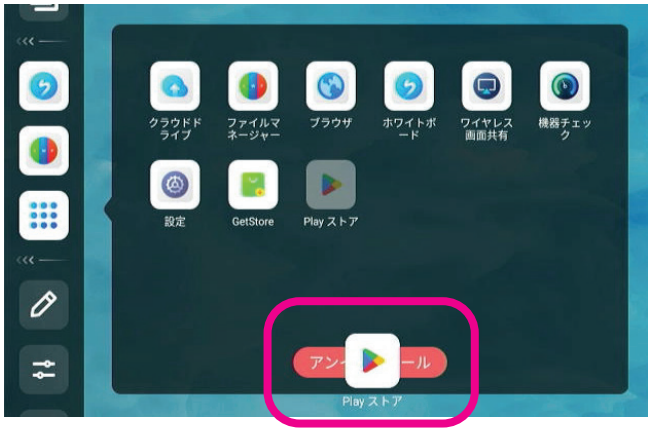


15. アプリのアンインストール方法

インストールしたアプリは以下の方法でアンストールできます。

1. アンインストールしたいアプリを、アプリ一覧で長押しすると「アンインストール」オプションが表示されます。（下記の例はPlayストアをアンインストールする場合です。）

2. アプリを長押ししたまま「アンインストール」の上までドラッグして「アンインストール」の表示が赤くなったら指を放します。



3. アンインストールを実行するか確認メッセージが表示されるので、アンインストールする場合は「アンインストール」をタップして、アプリのアンインストールを実行します。

16. プリインストールアプリについて

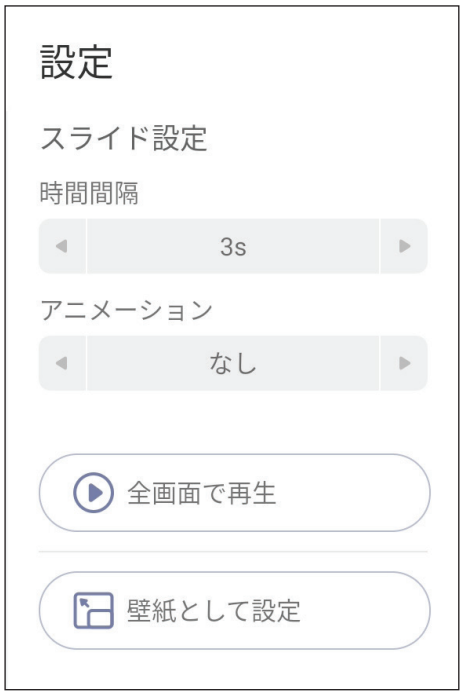
写真アプリ

ファイルマネージャーで画像ファイル(JPEG、PNG、BMP)を選択して開くと、写真アプリが起動して、選択された画像が表示されます。画像はピンチすることで拡大/縮小表示され、ドラッグすることで表示範囲を移動できます。
また、画面をタップすると画面下部に下記の操作パネルが表示されます。

操作パネルの機能

① 表示されている画像を拡大します。
② 表示されている画像を縮小します。
③ 画像を実サイズで表示します。
④ 画像を右に90度回転させて表示します。
⑤ 設定パネルを開きます。
⑥ 最近表示した画像を操作パネルの上に横並びで表示します。

設定パネルについて



スライド設定ではスライドショーに関する設定をします。
スライドショーで表示される画像は、現在表示されている画像があるフォルダ内の画像、および最近表示した画像が対象になります。

時間間隔:
スライドショーで表示される画像を何秒間ずつ表示するかを設定できます。設定可能な時間は3秒、5秒、10秒、20秒です。

アニメーション:
画像の切替時のアニメーションを指定できます。
なし、スケール、スライド、フェード、ランダムから選択します。

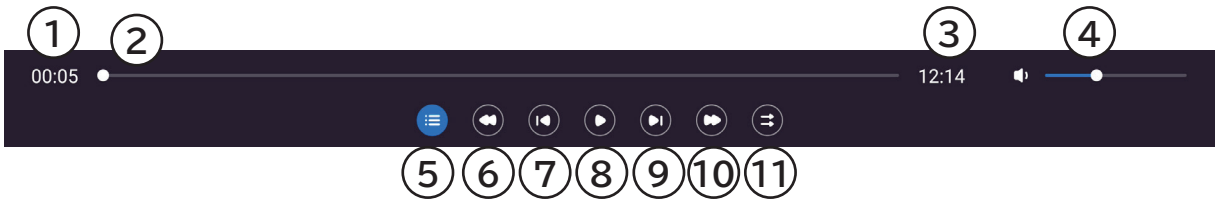
全画面で再生:
スライドショーを開始します。スライドショーを終了するには再生中に画面をタップすると画面右下に表示される、停止アイコン をタップします。

壁紙として設定:
表示している画像をホーム画面の壁紙として設定します。

写真アプリを終了するにはサイドバーの「戻る」をタップします。

ビデオプレイヤー

ファイルマネージャーで動画ファイル(mp4、mov、mkv)を選択して開くと、ビデオプレイヤーが起動して、選択された動画の再生が開始されます。本製品で対応しているコーデックはH264/H265ですが、すべての動画ファイルの再生を保証するものではありません。個々の動画ファイルのエンコードによっては再生できないファイルもあります。
また、画面をタップすると画面下部に下記の操作パネルが表示されます。



① 再生の経過時間
② 現在の再生位置(スライダー上をドラッグして再生位置を変更できます。)
③ 動画ファイルの全再生時間
④ 音量調節スライダー(ドラッグして音量を調整できます。)
⑤ 最近再生した動画ファイルを操作パネル上に横並びにリスト表示します。
⑥ 5秒前に移動
⑦ 先頭に移動
⑧ 再生/一時停止
⑨ 次のトラック
⑩ 5秒後に移動
⑪ 再生モード切り替え(すべて再生して停止、すべてをリピート再生、1ファイルをリピート再生)

ビデオプレイヤーを終了するにはサイドバーの「戻る」をタップします。

機器チェック

本製品には機器の状況をチェックするための「機器チェック」アプリがプリインストールされています。
「機器チェック」アプリを開き、ネットワークの接続、カメラ、マイク、タッチパネル、PCモジュール(オプション)の状況を確認することができます。

機器チェックアプリはサイドバーのアプリ一覧から開くことができます。

17. ツールについて

本製品ではAndroidで使用可能な下記のツールが用意されています。
サイドバーの「ツール」から開くことができます。

名称	機能
タイマー	画面上にタイマーを表示します。
ストップウォッチ	画面上にストップウォッチを表示します。
画面録画	画面を録画できます。(スクリーンキャプチャー)
画面静止	現在表示している内容を静止した状態で表示します。
スクリーンショット	画面のスクリーンショットを保存します。
画面分割	画面を左右に分割して対応しているアプリを表示します。
カメラ	カメラアプリを起動します。
電卓	電卓アプリを開きます。
タッチロック	画面タッチの有効、無効を切り替えるボタンを表示します。
画面ロック	画面ロックのパスコードを設定して画面をロックすることができます。
PIP	ピクチャーインピクチャーを開きます。別の入力の映像を同じ画面内に表示します。

タイマー

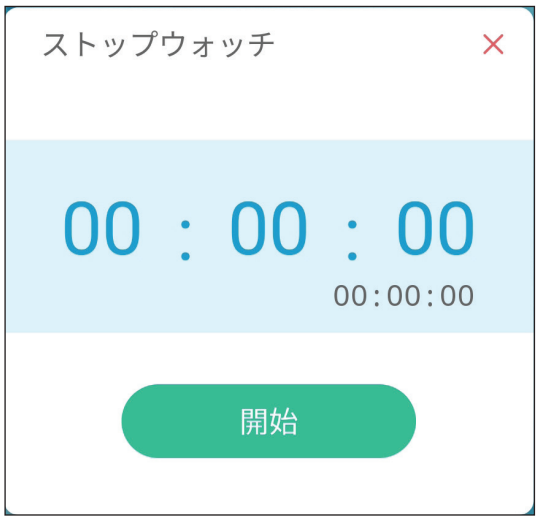
経過時間を指定し、指定した時間を経過したら音を鳴らして知らせることができます。
数字を上下にスワイプして時、分、秒を変更できます。
タイマー時間は1秒から23時間59分59秒の間で設定できます。

「時間になったら音で知らせる」のチェックを外すと指定時間経過しても音は鳴りませんが、タイマー時間の表示色が赤くなり、指定した時間が経過したことを知らせます。

画面にタイマーを表示した状態で、タイマー以外の部分をタップするとタイマーは最小化表示になり、ドラッグして画面上の任意の場所に移動することができます。
右上の「×」をタップすると終了します。

ストップウォッチ

経過時間とラップを測定することができます。



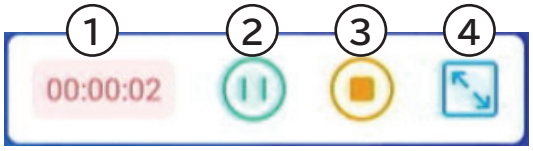
右上の「×」をタップすると終了します。

画面録画

画面を録画してmp4ファイルとして保存することができます。
ツールを起動すると下記の操作パネルが画面上に表示されます。

Rec: 3秒カウントダウンしたあとに画面録画が開始されます。
設定: ビデオの解像度と保存先を設定できます。
　　設定できる解像度は1920x1080または1280x720です。
　　保存されるファイル名は「年月日_時分秒.mp4」です。
終了: 画面録画を終了します。

画面録画中は操作パネルが下記の表示になり、録画の一時停止や停止の操作ができます。

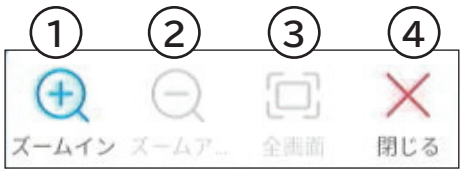


① 録画開始からの経過時間
② 録画の一時停止、再開
③ 録画の停止
④ 操作パネルの展開/折り畳み

録画を停止すると、「設定」で指定した保存先にファイルが保存され、保存完了のメッセージが表示されます。

画面静止

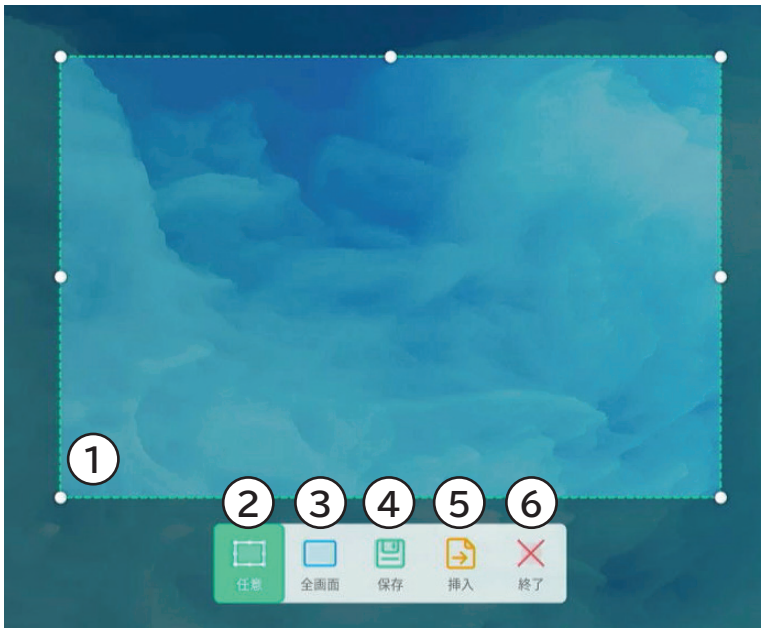
現在表示されている画面を静止して、拡大表示することができます。
ツールを起動すると下記の操作パネルが表示されます。



① 画面を拡大します。拡大した状態で画面をドラッグして表示範囲を動かすことができます。
② 拡大表示した状態から縮小します。(元の大きさより小さく表示することはできません。)
③ 全画面表示にします。
④ 画面静止を終了します。

スクリーンショット

画面の一部、または全体をJPEGで保存します。
ツールを起動すると下記の操作パネルが表示されます。



① マーカー(丸印)をドラッグして保存する範囲を調整します。
② スクリーンショットを撮る範囲をマーカーで任意に指定します。
③ スクリーンショットを撮る範囲として全画面を指定します。
④ 現在指定されている範囲のスクリーンショットを撮って保存します。
保存先はローカルストレージのNotes/Markフォルダ内に日付フォルダが自動的に作成され、ファイル名「年-月-日-時-分-秒.jpg」で保存されます。
⑤ 現在指定されている範囲のスクリーンショットをホワイトボードに挿入します。
⑥ スクリーンショットを終了します。

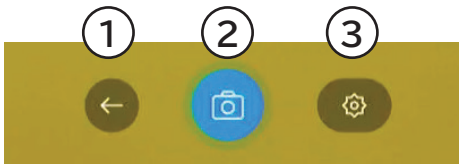
画面分割

画面を左右2画面に分割して、対応するアプリを表示することができます。
画面分割に対応するアプリは「カメラ」、「ファイルマネージャー」、「ブラウザ」、「ホワイトボード」、「設定」です。

① 左画面のアプリを閉じて画面分割を終了します。
② 左右にドラッグして分割位置を調整します。
③ 右画面のアプリを閉じて画面分割を終了します。

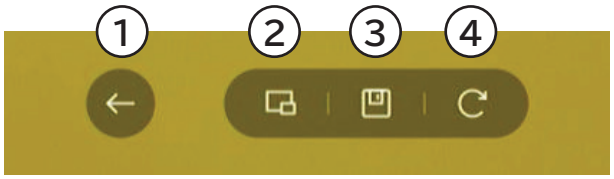
カメラ

本製品の内蔵カメラで写真を撮ることができます。
ツールを起動すると下記の操作パネルが表示されます。



① カメラを終了します。
② 3秒カウントダウン後に写真を撮影します。
③ カメラの設定を変更します。
現在のデバイス:本製品が使用するデバイス名が表示されます。(変更不可)
解像度:保存する写真の解像度を指定します。
指定可能な解像度は3840x2160、2560x1440、1920x1080、1280x720のいずれかの解像度です。

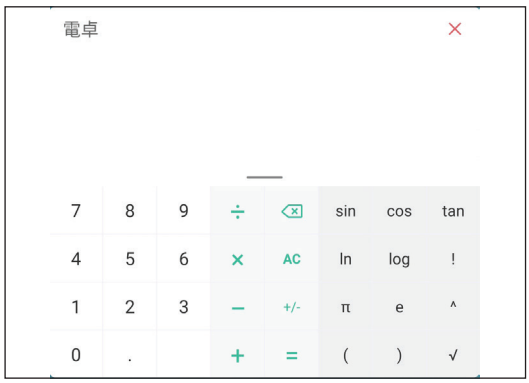
写真を撮影すると下記の操作パネルが表示されます。



① カメラを終了します。
② 撮影した写真をホワイトボードに挿入します。
③ 撮影した写真を保存します。保存時にローカルストレージのCamera/photograph内に日付フォルダが自動的に作成され、ランダムな数値のファイル名のJPEGで保存されます。
④ カメラを撮影モードに戻します。

電卓

電卓を起動します。終了する場合は右上の「×」をタップします。



タッチロック

タッチパネルの反応を有効化/無効化するためのツールを表示します。ツールをタップすることで有効と無効を切り替えることができます。

タッチ有効

タッチ無効

ツール内の右上の「×」をタップするとタッチロックツールは終了します。

画面ロック

4桁のパスコードを設定して画面をロックすることができます。画面をロックすることで、第三者によるアプリのインストールやデータの削除などの操作を防ぐことができます。

画面ロックツールを起動して、「画面ロック解除のパスコード」を有効にすると、4桁のパスコードを入力する画面が表示されます。
新しいパスコード、同じパスコードの確認入力をすると画面ロックが有効になります。

注意：設定したパスコードを忘れてしまった場合の回復方法はありません。
パスコードを設定する場合は、絶対にパスコードを忘れないようにしてください。

パスコードが設定されている状態で画面ロックツールを起動すると下記操作パネルが表示されます。

中央の鍵の部分をタップすると画面がロックされます。

画面をロックするとロック解除のパスコードの入力画面になります。
正しいパスコードを入力するとロックが解除され操作が可能になります。

パスコードを変更するには

画面ロックツールを起動して「パスコードの変更」を選択してください。
現在のパスコードを入力した後に、新しいパスコードを設定できます。

画面ロックを無効にするには

画面ロックツールを起動して、「画面ロック解除のパスコード」をスライドボタンを左にスライドさせます。現在のパスコードを入力すると画面のロックが無効になります。

PIP（Picture In Picture）

このツールを起動すると、Android上に別の入力ソースを表示、操作（Windowsオプションの場合）することができます。

PIPウィンドウ内には下記の操作ボタンがあります。

① PIP内に表示する入力ソースを選択します。
② PIP内の入力ソースに対してタッチ操作の有効/無効を切り替えます。タッチ操作を有効にすると
本製品に取り付けたUSBデバイスはPIPで選択されている入力ソースに接続されます。
③ PIPウィンドウの大きさを大、中、小の3サイズで変更できます。
④ PIP内の入力ソースの音量を調整できます。
⑤ PIP内で表示されている入力ソースに切り替えます。PIPは終了します。
⑥ 操作ボタンを非表示にします。
⑦ PIPを終了します。

サイドバーのカスタマイズ

サイドバーに表示するツールを変更することができます。
ツール一覧を表示して、右上の編集をタップします。

既にサイドバーに登録されているツールは削除可能に、ツール一覧にあるツールは追加可能な状態になります。

サイドバーへの登録手順

(1)サイドバーに登録できるツールは最大3つです。既に登録されているツールをタップして
サイドバーへの登録を解除します。

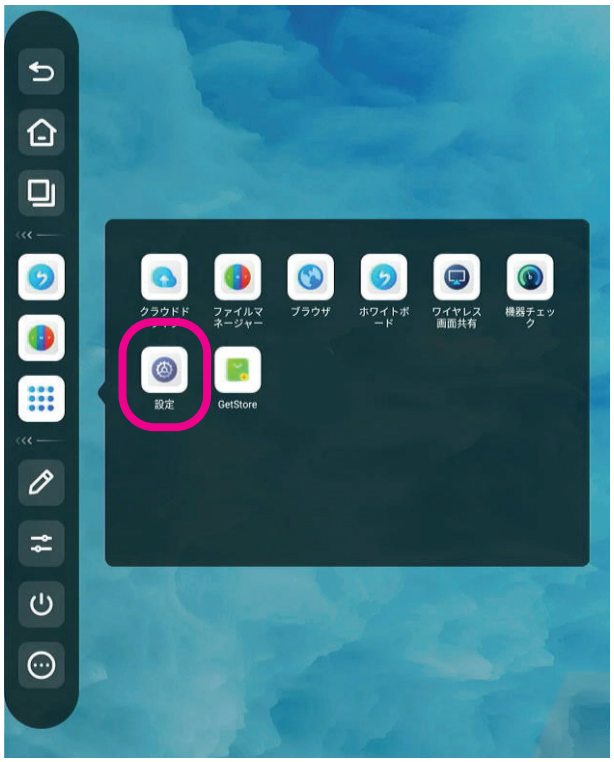
(2) サイドバーに登録したいツールをサイドバーにドラッグするか、またはタップします。

(3) ウィンドウ右上の「終了」をタップして登録を終了します。デフォルトの状態に戻す場合は
「リセット」をタップしてから終了します。

サイドバー内での表示順を変更するには、サイドバーにあるツールアイコンを長押ししてからドラッグします。

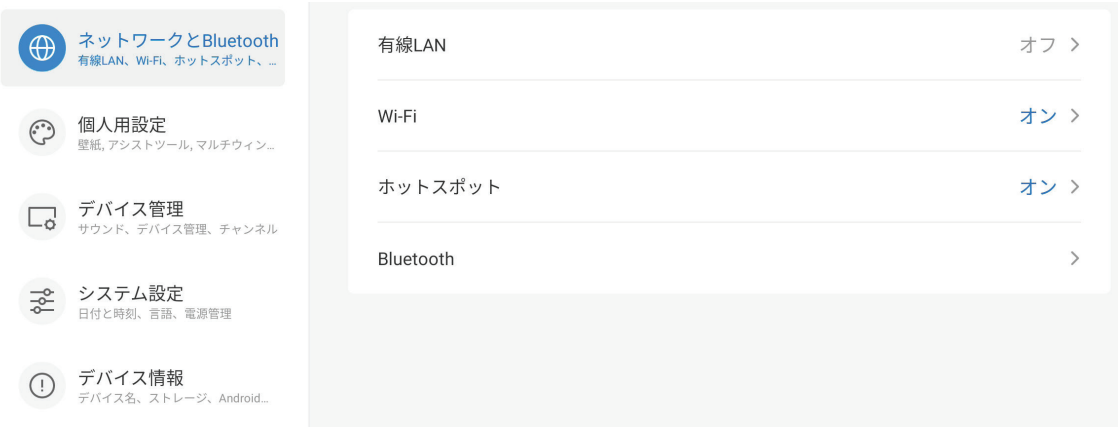
18. 設定について

Androidのシステムに関連する各種設定はサイドバーのアプリ一覧の「設定」を開いて変更することができます。



ネットワークとBluetooth設定

ネットワークとBluetoothに関する設定を行います。



有線LAN

有線LANケーブルを接続して、有線LANを有効にして有線LANを使用できます。
「IPアドレスを自動的に取得する」を無効にすると、手動で入力して指定することができます。
IPアドレスの入力時には自動的に画面上にキーボードが表示されます。
IPアドレスを入力したら、「保存」をタップして設定を終了します。

Wi-Fi

Wi-Fiを有効すると周囲のアクセスポイントがリスト表示されます。リストから接続したいアクセスポイント名を選択します。

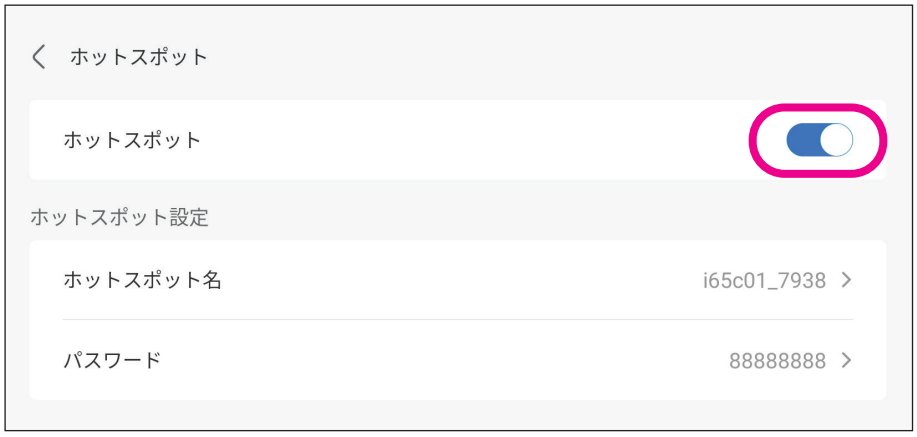
選択したアクセスポイントのパスワードを入力して接続します。パスワード入力時は自動的にキーボードが画面上に現れます。

詳細設定をチェックすると、固定IPやプロキシを設定することができます。

ネットワーク設定の詳細についてはGoogleが提供するAndroidのヘルプを参照してください。
https://support.google.com/android

ホットスポット

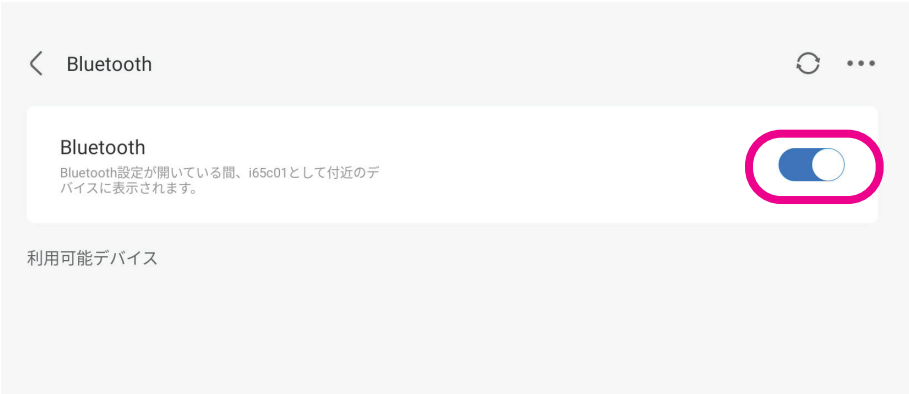
ホットスポットを有効にすると本製品をWi-Fiのホットスポットとして利用できます。ホットスポット名、Wi-Fiセキュリティ、接続のパスワードを変更できます。
Wi-Fiの周波数は5GHzのみ対応しています。
本製品のホットスポットには最大8台まで接続できます。



Bluetooth

Bluetoothを有効にすると、キーボードやマウスなどのBluetooth機器を接続して使用することができます。Bluetoothデバイスが利用可能デバイスとして表示されない場合は、Bluetoothデバイスがペアリングモードになっていることを確認してから、画面右上の回転している矢印部分をタップしてデバイスを再検索してください。Bluetoothデバイスをペアリングモードにする方法についてはご使用のBluetoothデバイスの取扱説明書を参照してください。

利用可能デバイスに表示された機器をタップすると本製品と接続され、利用可能になります。



個人用設定

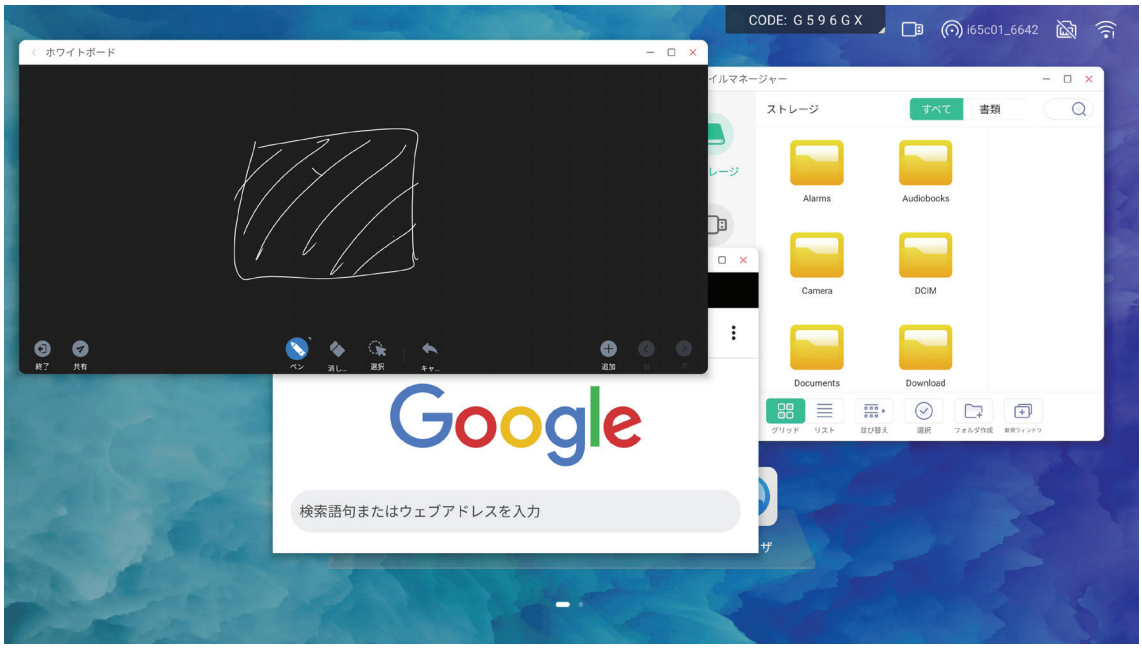
壁紙、マルチウィンドウモード、サイドバー、カスタムジェスチャーなどを設定できます。

壁紙

壁紙を変更できます。「カスタム壁紙」では任意の画像ファイルを本製品のローカルストレージにコピーして、選択して設定することもできます。壁紙に設定できる画像は解像度3840x2160ピクセル(推奨)、ファイルサイズは5MB以下のJPEGファイルです。

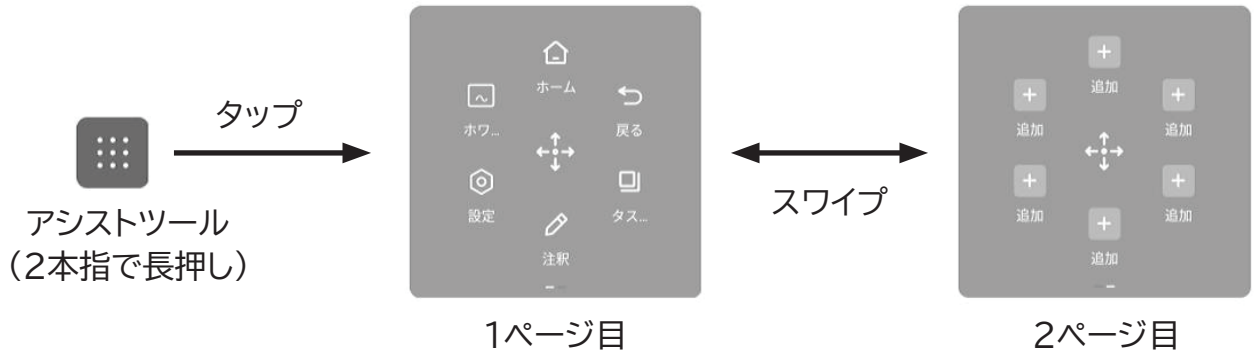
マルチウィンドウモード

マルチウィンドウモードを有効にすると、下図のように複数のアプリを同時に画面上に表示できます。マルチウィンドウモードでは消費電力が多くなる場合があります。マルチウィンドウモードの有効/無効の設定を反映するには本製品の再起動が必要になります。



アシストツール

アシストツールを有効にすると、画面上を2本指で長押しするとアシストツールを呼び出すことができます。アシストツールにはホーム画面、戻る、タスクマネージャー等へのショートカットや、任意のアプリをショートカットとして追加登録して素早くアクセスできるようになります。



2ページ目の「追加」をタップするとインストール済みのアプリを登録することができます。
登録できるアプリは最大6つです。

アシストツールを無効にするとアシストツールが表示されなくなります。

ショートカット

ショートカットを追加したいアプリの「＋」をタップしてカスタムメニューに登録します。登録を解除するには「－」をタップします。設定を保存して終了するには「終了」をタップします。

拡張サイドバーモード

拡張サイドバーモードとは、アシストツールにあるショートカットをドックのように上下に表示させるモードです。拡張サイドバーモードを有効にするには、アシストツールをドラッグして画面の上部、または下部に移動させます。

拡張サイドバーが有効になると、画面の上下中央に拡張メニューが折りたたまれた状態で表示されます。

タップして拡張メニューを開き、ショートカットから目的の項目を選択できます。

拡張サイドバーモードを終了するには、画面上を2本指で長押ししてアシストツールを呼びだします。

操作がない場合にサイドバーを自動で非表示

折りたたまれたサイドバーの表示を指定時間経過後に非表示にするよう設定することができます。
デフォルトは「なし」(常に表示)です。設定可能な経過時間は3秒、5秒、10秒、30秒です。
非表示になったサイドバーを再び表示するには、画面の任意の場所をタップします。

サイドバーのアプリ名を表示

有効にすると、サイドバーのアイコンの下にアプリ名やショートカットの名称が表示されます。

カスタムジェスチャー

5本指を使ったジェスチャーに特定の機能を割り当てることができます。デフォルトは「なし」(機能の割り当てなし)です。

ジェスチャー	割り当て可能な機能
5本指で長押し	なし(割り当てなし) ホームページ(ホーム画面) 決定 スクリーンショット 画面オフ
5本指で左にスワイプ	なし(割り当てなし) ホームページ(ホーム画面) 決定 スクリーンショット 画面オフ アプリ切り替え
5本指で右にスワイプ	なし(割り当てなし) ホームページ(ホーム画面) 決定 スクリーンショット 画面オフ アプリ切り替え
5本指でつまむ	なし(割り当てなし) ホームページ(ホーム画面) 決定 スクリーンショット 画面オフ
5本指で下にスワイプ	なし(割り当てなし) ホームページ(ホーム画面) 決定 スクリーンショット 画面オフ

スマートタイムウィンドウ

有効にすると、ホワイトボードとブラウザで画面中央上部に時計を表示します。

デバイス管理

音やデバイスの各種設定を行います。

タッチの操作音

有効の場合はタッチの操作音がなります。タッチの操作音が必要ない場合は無効にします。

音声出力設定

音声の出力先を指定します。

スピーカー：　本製品のスピーカーからのみ音声を出力します。

ラインアウト：本製品の底面にあるオーディオ出力端子からのみ音声を出力します。

ミックス：　　本製品のスピーカーと底面のオーディオ出力端子の両方から音声を出力します。

スピーカー

本製品のスピーカー情報を確認できます。(変更はできません。)

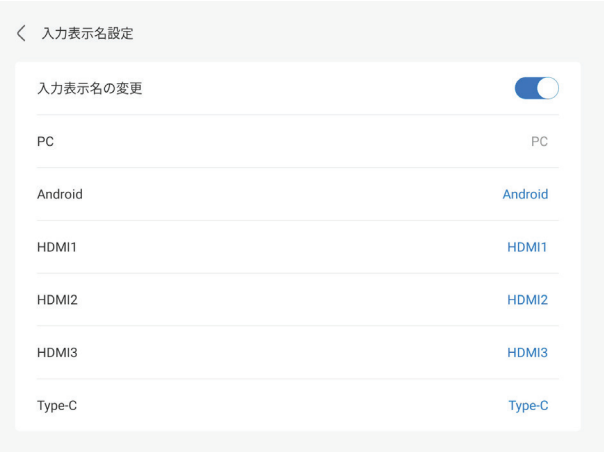
USBロック

本製品のUSB端子の有効/無効を切り替えます。USBロックを有効にすると本製品のUSB端子はロックされ、USB機器を取り付けても認識されません。

マイク
本製品の内蔵マイクの有効/無効を切り替えることができます。通常は「AUTO」で使用します。

USB-Audio - TOUCHDEVICE: 本製品の内蔵マイクを使用します。
OFF: マイクを使用しません。
AUTO: 本製品の内蔵マイクを使用します。

入力表示名設定
この設定を有効にすると、各入力ソースの表示名を変更することができます。



入力表示名を変更したい入力ソース名をタップして、入力表示名を編集できます。

HDMI出力フォーマット
本製品の底部にあるHDMI端子からの出力信号のフォーマットを指定できます。
指定可能なフォーマットは下記の通りです。
3840x2160p@60Hz
1920x1080p@60Hz
1280x720p@60Hz
Auto（出力先のHDMI機器に応じて自動で出力フォーマットが設定されます。）

自動フレーミング
この設定を有効にすると、カメラが動きのある人物を追尾して自動で画角を切り替えます。「音源の場所にフレーミング」と同時に設定することはできません。
※ オプションのWindowsボードでもこの設定は有効になります。

音源の場所にフレーミング
この設定を有効にすると、カメラが音源の場所を中心に自動で画角を切り替えます。「自動フレーミング」と同時に設定することはできません。
※ オプションのWindowsボードでもこの設定は有効になります。

システム設定

日付と時刻、言語、電源に関する設定を行います。

日付と時刻

システムの日付と時刻の設定を行います。

設定項目	内容
24時間形式を使用	有効にすると24時間形式で日付を表示します。
日時を自動的に設定	有効にすると日時をネットワークから取得します。システムがインターネットに接続されている必要があります。
タイムゾーン	タイムゾーンを指定します。日本は「GMT+09:00 東京」です。

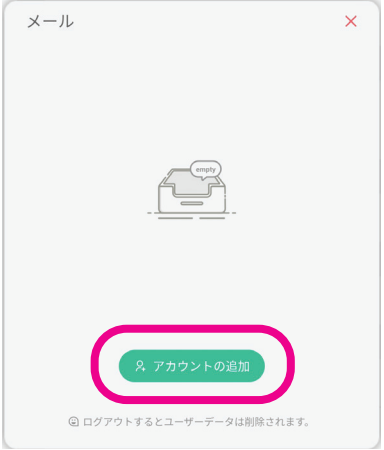
言語とキーボード

システムの言語と使用するキーボードを指定します。

設定項目	内容
言語	システムの言語を選択できます。日本語で使用する場合は「日本語」を設定します。
画面キーボード	画面に表示するオンスクリーンキーボードを指定できます。デフォルトではAndroidキーボードとGboard(多言語入力)が有効になっています。
物理キーボード	USBまたはBluetoothで接続されている物理キーボードの情報が表示されます。必要に応じてキーボードのレイアウトを変更することができます。
現在のキーボード	現在選択されているキーボードを変更できます。Gboard(多言語入力)はズールー語と表示されますが、これはGoogleのGboardの仕様です。日本語入力する場合はGboardを選択してください。

デフォルトの起動項目
Androidで起動する場合に、起動直後に開くアプリを「デフォルトの起動項目」として設定できます。
例えば、起動項目として「ホワイトボード」を設定すると、本製品の起動時に常にホワイトボードが開きます。

メール
ファイルマネージャーで選択したファイルをメールで送信する場合、メールの送信元を設定する必要があります。ここで設定するメール設定は、メールの送信のみに使用されます。



「アカウントの追加」を選択します。

送信用メールのユーザー名、メールアドレス、パスワード、SMTPサーバー、ポート番号を入力して「確認」をタップすると有効なメールアドレスかの確認が行われ、確認が成功するとメール設定が保存されます。

送信用メールのアカウントは別途ご用意ください。送信用メールの設定内容については、メールサービスを提供している事業者にお問い合わせください。

起動と終了、電源の管理

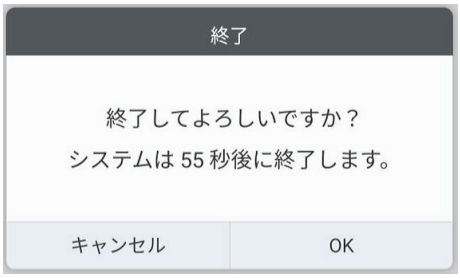
起動時のチャンネル(Android, Windows(オプション)、その他の入力)の設定、オンタイマー、オフタイマー、スリープやスクリーンセーバーについて設定できます。

起動チャンネル

本製品では、Android、Windows(オプション)やその他の外部入力を含めて、画面表示を切り替えできる対象をチャンネルと呼びます。この設定では本製品が起動したときに表示するチャンネルを指定します。Android以外に、Windows(オプション)や外部入力を選択することができます。「前回終了したチャンネル」を選択した場合は、前回終了時のチャンネルで起動します。

電源のオフを通知する

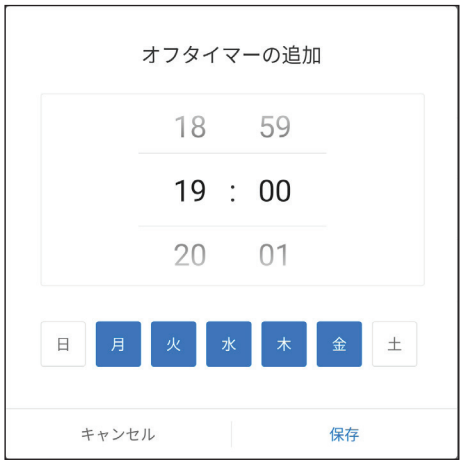
この設定が有効の場合、オフタイマーで本製品の電源がオフになる1分前に、電源オフの通知が画面に表示され、オフタイマーの電源オフをキャンセルすることができます。



オンタイマー
指定した曜日の指定時間に本製品の電源が自動的にオンになるように設定できます。

時、分は上下にスワイプして変更できます。オンタイマーを有効にしたい曜日をタップします。青い表示はオンタイマーが有効な曜日です。設定が完了したら「保存」をタップします。

オフタイマー
指定した曜日の指定時間に本製品の電源が自動的にオフになるように設定できます。



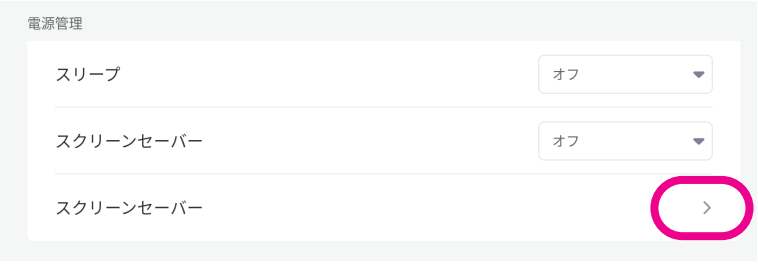
時、分は上下にスワイプして変更できます。オフタイマーを有効にしたい曜日をタップします。青い表示はオフタイマーが有効な曜日です。設定が完了したら「保存」をタップします。
上記の例では毎週月曜～金曜の19時に電源が切れます。「電源のオフを通知する」を有効にしている場合は、指定した時間の1分前に電源オフの通知メッセージが表示され、電源オフをキャンセルすることができます。
オンタイマー、オフタイマーが設定されると、タイマー設定に表示され、それぞれ有効/無効を切り替えることができます。変更する場合は「起動する時間」、「終了する時間」と書かれている部分をタップして時間の変更やタイマーの削除をすることができます。

スリープ
操作がない場合に画面を消灯するまでの時間を設定できます。Androidでのみ有効です。設定可能な時間はオフ(スリープしない)、1分、3分、5分、10分、15分、30分、45分、60分です。スリープから復帰するには画面をタップするか、または前面の電源ボタンを短く押します。

スクリーンセーバー
操作がない場合にスクリーンセーバーを開始するまでの時間を設定できます。Androidでのみ有効です。設定可能な時間はオフ(スリープしない)、1分、3分、5分、10分です。スクリーンセーバーを終了するには画面をタップします。

スクリーンセーバーは、プリインストールされているテーマの他にも手持ちの画像を指定してカスタムテーマを設定することができます。事前にスクリーンセーバーとして使用したい画像(**3840x2160, JPEG, 5MB以下推奨**)ファイルを本製品の内蔵ストレージにコピーしておきます。スクリーンセーバーのテーマとして設定できる画像ファイルは20ファイルまでです。

スクリーンセーバーを変更する場合は、下記をタップしてスクリーンセーバーのテーマ変更画面を開きます。

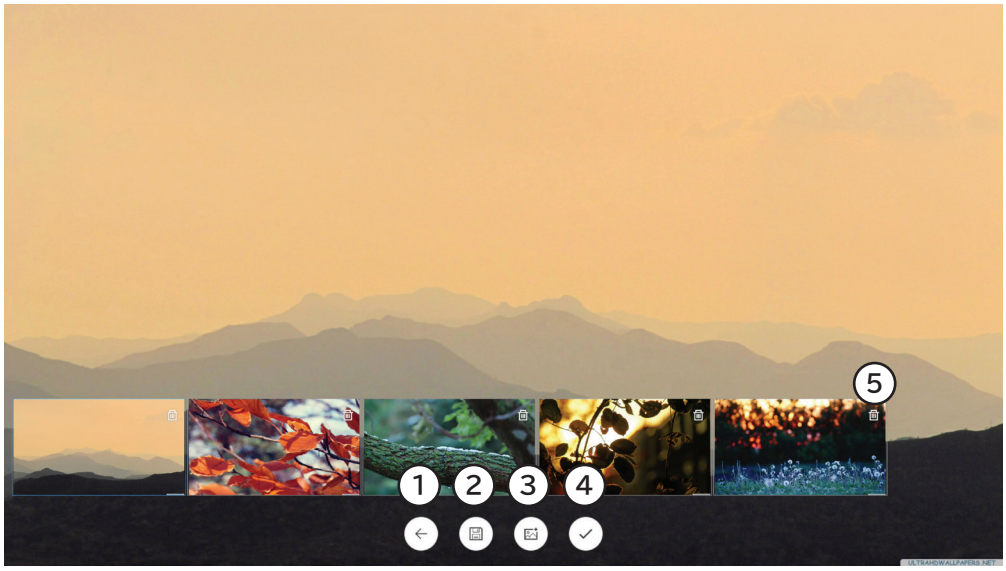


スクリーセーバー設定画面が開くので、「カスタムテーマの追加」をタップします。

スクリーンセーバーにする画像が入っているフォルダを選択します。下記の例は、内蔵ストレージ直下に「スクリーンセーバー用写真」というフォルダを作成して、そのフォルダを選択した場合です。フォルダ内にファイルがあっても表示されません。

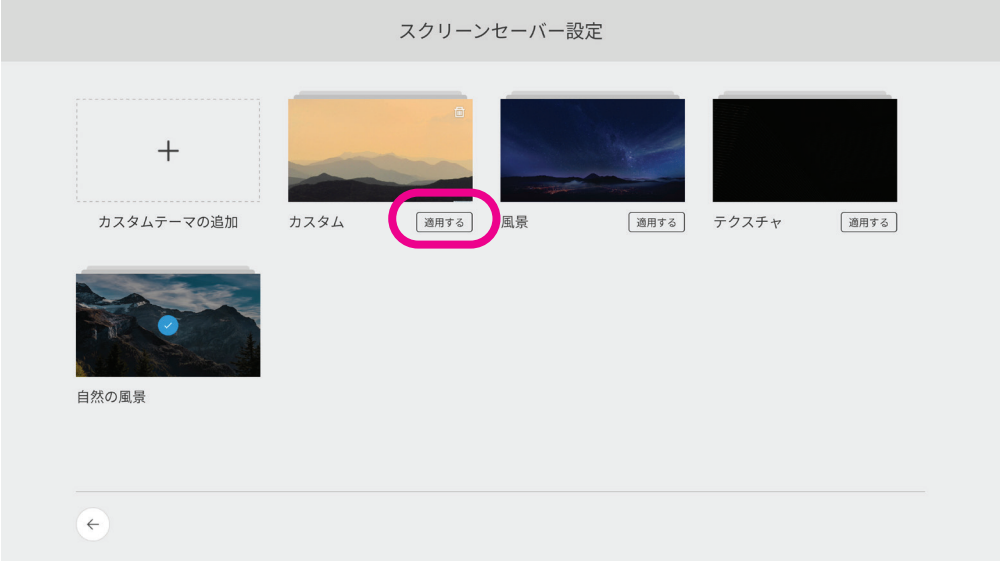
「OK」をタップすると画像データのインポートが開始されます。

画像の読み込みが完了すると、読み込んだ画像の一覧が表示されます。



① 前の画面に戻ります。保存していない場合は、保存するかの確認メッセージが表示されます。
② テーマ名を入力してスクリーンセーバーのテーマとして保存します。
③ 現在のテーマに画像を追加します。
④ 現在開いてるテーマを閉じます。
⑤ 各画像の右上のゴミ箱マークをタップすると、テーマから画像を削除できます。

スクリーンセーバーの表示順は画像のファイル名順になります。
設定後は①をタップして前の画面に戻ります。



「適用する」を選ぶと、選択したテーマがスクリーンセーバーとして適用されます。テーマを削除する場合はテーマの右上にあるゴミ箱マークをタップします。元の画面に戻るには画面左下にある「左矢印」をタップします。

システムアップデート

システムの現在のバージョンと、更新の確認ができます。

新しい更新があった場合にシステムをアップグレードできます。システムをアップグレードするには下記の要件を満たす必要があります。

1. ローカルストレージに2GB以上の空き容量があること。
2. アップグレード中は必ず電源を入れたままにできること。

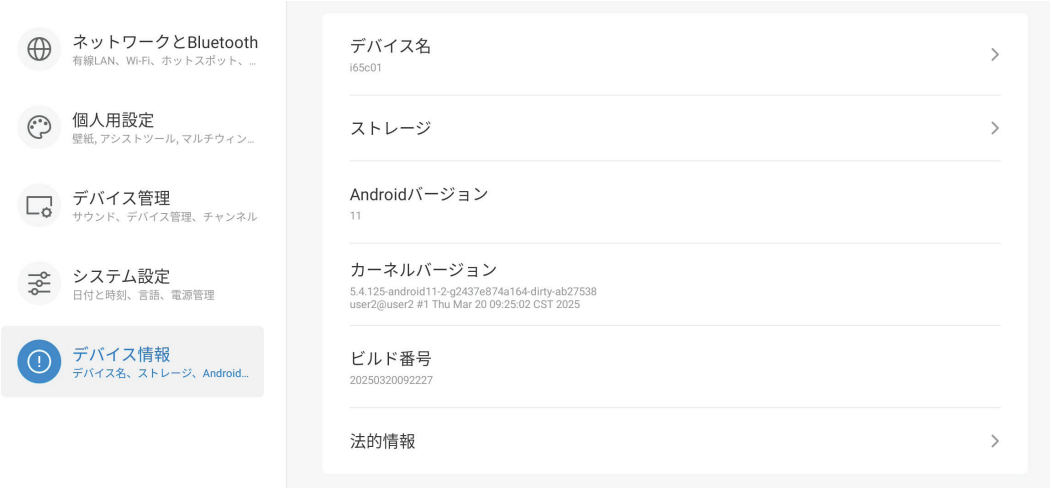
工場出荷時の状態にリセット

あとからインストールしたアプリの影響などによりシステムが不安定になる場合があります。
そのような場合は、このメニューから工場出荷時の状態にリセットすることができます。
リセットをすると本製品は自動的に再起動します。

注意：
インストールしたアプリやローカルストレージ内のファイルはすべて消去されます。
必要なデータはリセットする前にクラウドドライブやUSBメモリにコピーして保存してください。

デバイス情報

デバイス名の確認、変更、ストレージやAndroidバージョン等の確認ができます。



デバイス名

本製品のデバイス名を変更できます。デバイス名として使用できる文字は半角英字または数字飲みで、日本語は使用できません。

ストレージ

本製品の内部ストレージの容量とメモリの使用容量を確認できます。

内部ストレージ容量の部分をタップすると、内部ストレージの使用容量の詳細が表示されます。

「アプリのデータをクリーンアップ」をタップすると、アプリのキャッシュデータを削除できます。
キャッシュデータが溜まっていた場合に、この操作で空き容量を増やせる場合があります。

Androidバージョン
本製品のOSのAndroidバージョンを確認できます。

カーネルバージョン
本製品のOSのカーネルバージョンを確認できます。

ビルド番号
本製品のOSのカーネルバージョンを確認できます。

法的情報
本製品のOSの法的情報を参照できます。

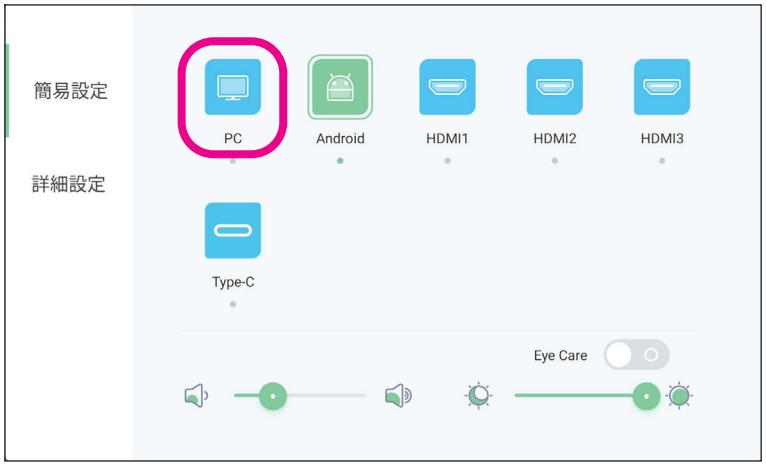
19. Windows(オプション)について

オプションのWindowsボードが搭載されている場合は、Windowsに切り替えて使用することができます。

画面をWindowsに切り替えるには、サイドバーから「メニュー」を開き、「PC」を選択します。

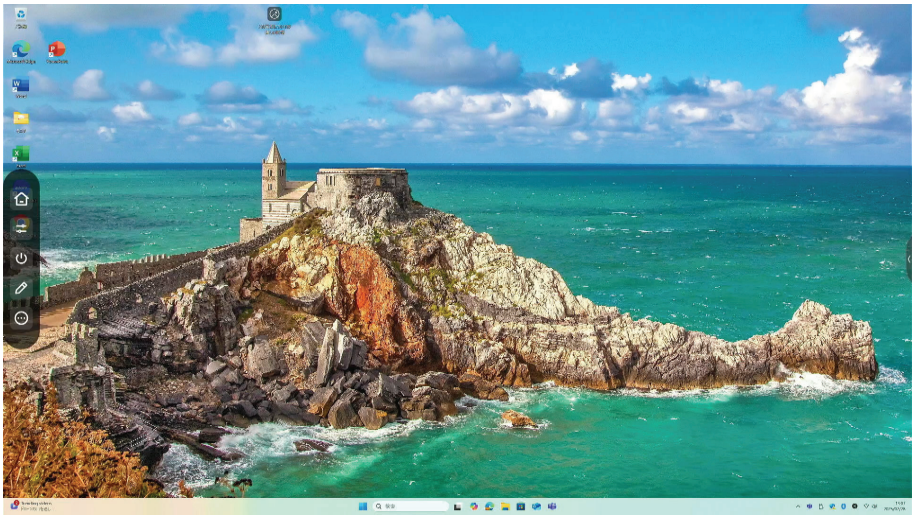
簡易設定でPCを選択

本製品の電源を入れてから初めてPCを選択した際にWindowsボードが起動します。Windowsのデスクトップが表示されるまでしばらくかかります。



WindowsからAndroidに切り替え

Windowsのデスクトップが表示されていても左右のサイドバーを開いて、ホームを押すとAndroidのホーム画面に戻ることができます。また、電源や注釈モードにアクセスすることができます。

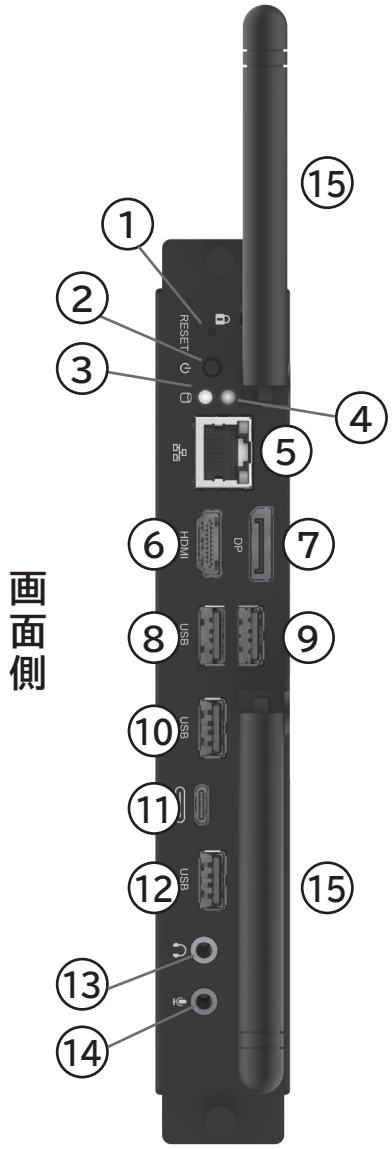


Windowsの終了

Windowsからシステムをシャットダウンすると、自動的に10秒後に本製品の電源がオフになります。Windowsのみ終了したい場合は、Windowsをシャットダウンしてから、画面に表示される本製品のシステム終了メッセージで「キャンセル」を選択してください。

Windowsボードについて

オプションのWindowsボードには下記のインターフェイスがあります。



① リセット: OSがハングアップした場合に使用します。

② 電源ボタン: Windowsボードの電源を入れます。通常は本体と連動して電源が入るため使用しません。

③ HDDアクセスLED(アクセス時に緑点滅)

④ 電源LED(電源オン時に赤く点灯)

⑤ 有線LANポート(10/100/1000Mbsp)

⑥ HDMI出力(最大解像度 3840x2160@60Hz)

⑦ ディスプレイポート出力(最大解像度 7680x4320@60Hz)

⑧ USB Type-Aポート (USB3.0)

⑨ USB Type-Aポート (USB3.0)

⑩ USB Type-Aポート (USB3.0)

⑪ USB Type-Cポート (USB3.2 Gen1データ通信のみ)

⑫ USB Type-Aポート (USB3.0)

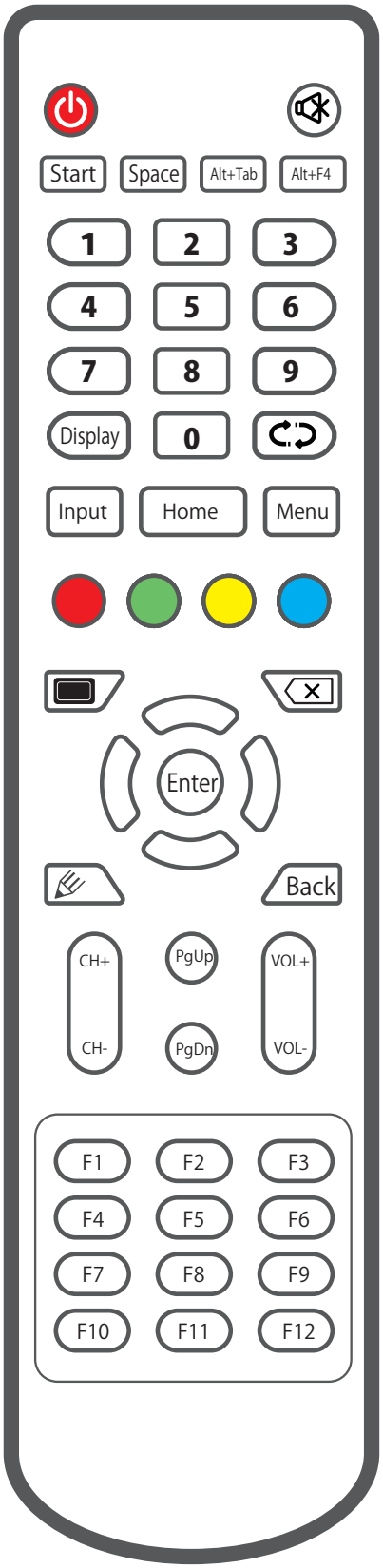
⑬ オーディオラインアウト (3.5mm)

⑭ マイク入力 (3.5mm)

⑮ 無線アンテナ

20. Androidでのリモコン操作

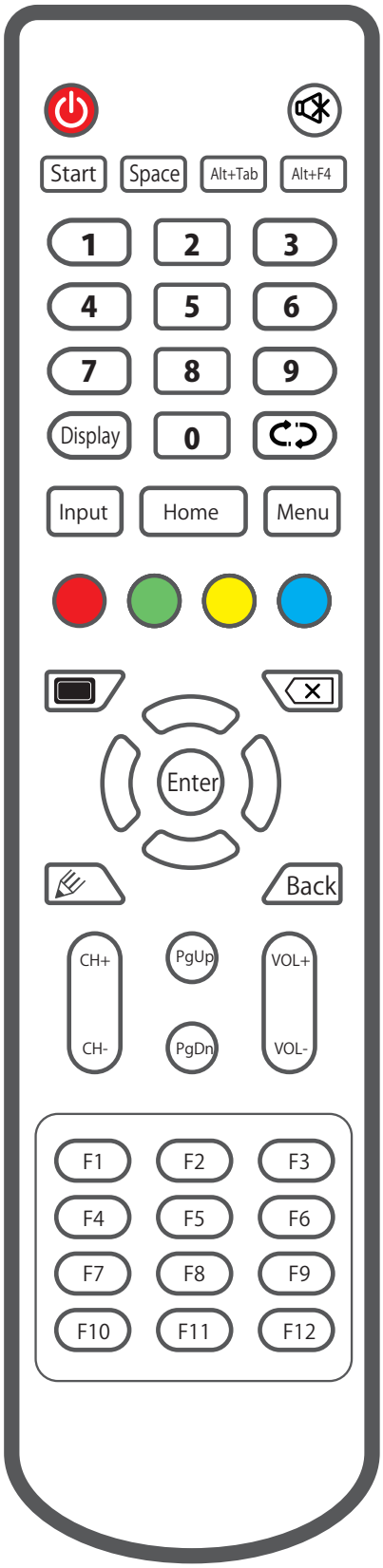
付属のリモコンで下記の操作ができます。記載がないボタンには機能の割り当てがありません。



ボタン	機能
	本製品の電源をオン/オフします。
	音声をミュート/ミュート解除します。
Input	入力切替メニューを表示します。
Home	ホーム画面を表示します。
Menu	詳細設定(オーディオ、画面、映像調整)を表示します。
	マイクの有効/無効を切り替えます。マイクの無効中は画面にマイクオフのアイコンが表示されます。
	画面のタッチをロック/ロック解除できます。(緑ボタンでロックした場合は、緑ボタンでロック解除)
	画面のタッチをロック/ロック解除できます。(黄ボタンでロックした場合は、黄ボタンでロック解除)
	画面静止ツールを起動します。
	画面をスリープ/スリープ解除します。
	ホワイトボードを起動します。
Back	戻る
十字キー	ホーム画面、ファイルマネージャー、写真アプリ等でフォーカスを移動します。
Enter	ホーム画面、ファイルマネージャー、写真アプリ等で選択を決定します。
VOL+ VOL-	音量をアップ/ダウンします。
PgUp	ファイルマネージャー等のアプリをフォーカスを先頭に移動します。
PgDn	ファイルマネージャー等のアプリでフォーカスを最後に移動します。

21. Windows(オプション)でのリモコン操作

付属のリモコンで下記の操作ができます。記載がないボタンには機能の割り当てがありません。



ボタン	機能
	本製品の電源をオン/オフします。
	音声をミュート/ミュート解除します。
Start	キーボードのWindowsキーと同じ動作です。
Space	キーボードのスペースキーと同じ動作です。
Alt+Tab	キーボードのAlt+Tabと同じ動作です。
Alt+F4	キーボードのAlt+F4と同じ動作です。
数字キー	キーボードの数字キーと同じ動作です。
Display	現在の画面の入力信号情報を表示します。
Input	入力切替メニューを表示します。
Home	Androidのホーム画面を表示します。
Menu	詳細設定(オーディオ、画面、映像調整)を表示します。
	画面のタッチをロック/ロック解除できます。(緑ボタンでロックした場合は、緑ボタンでロック解除)
	画面のタッチをロック/ロック解除できます。(黄ボタンでロックした場合は、黄ボタンでロック解除)
	画面静止ツールを起動します。
	画面をスリープ/スリープ解除します。
	キーボードのDELキーと同じ動作です。
十字キー	キーボードの矢印キーと同じ動作です。
Enter	キーボードのEnterキーと同じ動作です。
VOL+ VOL-	音量をアップ/ダウンします。
PgUp	キーボードのPgUpと同じ動作です。
PgDn	キーボードのPgDnと同じ動作です。

22. よくある質問

（1）よく画面がくもったようになるのはなぜですか？

画面の安全性を確保するために、本製品にはタッチスクリーンの上に強化ガラスが装備されています。強化ガラスとタッチスクリーンの間には放熱のためにわずかに隙間があり、空気の対流を確保するための通気路として使用されます。くもりが発生する主な原因は、本製品と周囲の温度差により、強化ガラスとタッチスクリーンの間の通気路内の空気が凝結し、画面にくもりが発生します。使用上は画面内のくもりの影響はなく、通常、数時間の稼働後に徐々に蒸発してくもりは消えます。

（2）同一製品が複数ありますが、一部の製品だけ起動が遅いです。

具体的な原因については調査が必要となりますが、理論的には同じ構成で使用している場合、起動速度はほぼ同じになります。一般的に、外部のUSBメモリの接続やインターネットの使用状況が、製品の起動時間に影響を与える可能性があります。また、ストレージの容量が不足している場合や、システムが部分的に破損している場合などは、起動が遅くなることがあります。

（3）なぜ一部のデバイスでマルチタッチ機能が使用できないのですか？

ご使用のデバイスに依存している可能性があります。Windows XPシステムはマルチタッチをサポートしていません。Windows 7の場合、外部コンピューターでも内蔵コンピューターでも、ホームプレミアム以上のバージョンのシステムである必要があります。Windows 7には、Windows 7 Starter（初級版）、Windows 7 Home Basic（ホームベーシック版）、Windows 7 Home Premium（ホームプレミアム版）、Windows 7 Professional（プロフェッショナル版）、Windows 7 Enterprise（エンタープライズ版）、Windows 7 Ultimate（アルティメット版）があります。

（4）付属のタッチペンの代わりに使用できるものはありますか？
（画面へ書くことができ、かつ画面を傷つけないもの）

一時的に指で代替して書くこともできます。追加の専用ペンが必要な場合は、販売店にご相談ください。

（5）一定時間使用すると、画面が熱くなります。これは正常な現象ですか？
何か悪影響はありますか？

画面の発熱は正常な現象であり、家庭のテレビと同様です。悪影響はありません。現在、当社の製品は業界で最先端の冷却設計を採用しています。また、国際的な健康基準にも準拠しています。

（6）長時間の使用は目に悪影響がありますか？

人間の目は、50Hz以下の周波数で発生する点滅を認識する特性を持ちます。50Hz以下の点滅は視覚的に知覚され、目の筋肉はこれに適応しようと継続的に調整を行うことで、眼精疲労の原因となります。本製品は60Hzまたは120Hzの液晶ディスプレイを採用しており、視認可能な点滅を引き起こしません。その結果、同様の製品と比較して、目の負担を大幅に軽減することが可能です。

23. 困ったときは

（1）自動で電源が切れてしまいます。

a. 入力ソースを確認してください。選択されている外部入力に入力信号がない場合は約5分後に自動的に電源が切れます。

b. 本製品に電源が安定して供給されているかを確認してください。

（2）電源ボタンが点灯しない

a. 電源コードが接続されていて、安定した電源が供給されているかを確認してください。

b. 本製品の底面にある電源スイッチがオンになっていることを確認してください。

（3）タッチした位置の認識が正確でない

a. タッチペンや指が画面に垂直に接触しているかを確認してください。

b. メモ用紙や袖など他の物が画面に触れてしまっていないか確認してください。

（4）タッチ操作が機能しない

a. 本製品が外部コンピュータに接続されている場合、タッチ信号用のUSBケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

b. 本製品のAndroidやWindows OSで使用している場合は、他社製のソフトウェアをインストールした場合に競合が発生している可能性があります。後からインストールしたソフトウェアをアンインストールして動作を確認してください。

c. リモコンの緑ボタン、黄ボタンでタッチ操作のロックがかかっている可能性があります。リモコンの緑ボタンまたは黄ボタンを押してロックを解除してください。

（5）Windows（オプション）に切り替えても画面が黒いままです。

a. Windowsボードの電源が何らかの理由で入っていない可能性があります。右側面のWindowsボードの電源LEDが赤く点灯していない場合は、Windowsボードの
電源ボタンを押して電源を入れてください。（77ページ参照）

b. Windowsボードがしっかりと取り付けられていない可能性があります。右側面のWindowsボードがしっかり奥まで差し込まれていることを確認してから、本製品を再起動してください。

24. メンテナンスについて

簡易的なメンテナンス

(1)正しいメンテナンスを行うことでいくつかの簡単なトラブルを回避することができます。
(2) 定期的な清掃は、製品の外観と動作状態を良好に保つことができます。
(3)清掃やメンテナンスを行う前に、必ず電源プラグを抜いてください。

画面の清掃

(1) 少量の洗剤またはクリーナーを温水と混ぜ、よくかき混ぜてください。
(2) この混合液に柔らかい布を完全に浸してください
(3)柔らかい布をよく絞ってから、本製品の画面を拭いてください。
(4) 繰り返し拭く(製品内部に水滴が入らないように注意してください)ことで、清掃は完了です。

フレームの清掃

乾燥した、柔らかくて毛羽立っていない布またはタオルで拭いてください。

長時間使用しない場合

長時間使用しない場合は、必ず電源を切って電源コードを抜いてください。

25. 主な仕様

項目	モデル	i65c01	i75c01	i86c01
液晶パネル	バックライトタイプ	DLED		
	パネルタイプ	VA		
	アスペクト比	16:9		
	ディスプレイサイズ	65 インチ	75 インチ	86 インチ
	解像度	3840x2160		
	輝度	350cd/ ㎡		
	応答速度	6.5ms	8.5ms	8ms
	リフレッシュレート	60Hz		
	表示色	1.07B(10bit)		
	コントラスト	5000:1	5000:1	4000:1
	視野角	178° (H) / 178° (V)		
	バックライト寿命	約 3 万時間 (室温 25 度で 1 日 16 時間使用した場合)		
入力端子	HDMI 入力	HDMI x 3 (側面)		
	USB TYPE-A	1 (側面) (USB2.0)		
	USB TYPE-A	4 (前面 x2, 側面 x 2) (USB3.0)		
	USB TYPE-C	1 (側面) 65W 充電対応 (USB3.1)		
	RS232C	1 (底面)		
出力端子	HDMI 出力	HDMI x 1 (底面)		
	タッチ信号出力	USB TYPE-B x 2 (側面)		
	オーディオ	ステレオミニジャック x 1 (底面)		
		SPDIF x 1 (底面)		
その他インターフェース	TF	TF スロット x 1 (底面)		
内蔵カメラ	解像度	48MP (フレーム上部内、中央)		
内蔵マイク	マイク数	8 個 (フレーム上部内)		
	集音距離	8 m		
スピーカー	スピーカー	10W x2, サブウーファー 15W		
ネットワーク	Wi-Fi 対応規格	802.11a/b/g/n/ac/ax (Wi-Fi6 対応)		
	Wi-Fi 周波数帯	2.4GHz、5GHz		
	Bluetooth 規格	Version 4.2		
	Bluetooth 周波数帯	2.4GHz		
	ホットスポット機能	同時接続台数 8 台まで		
	有線 LAN(RJ45)	2 (1000Mbps)		

項目	モデル	i65c01	i75c01	i86c01
タッチパネル	検出方法	赤外線方式		
	タッチ操作	最大 40 点		
	応答時間	5ms 以下		
	精度	± 1.0mm		
	有効範囲	2mm		
	検出高さ	1mm 以下		
	映り込み軽減	ガラス表面 AG 処理		
	保護ガラス	強化ガラス（硬度 :7H）		
	入力デバイス	タッチペン、指		
	対応 OS	Windows11/Windows10/Windows8/Windows7/WindowsXP/Android/Linux/Mac OS X/Chrome		
電源	使用電源	100-240V ～ 50/60Hz 4.0A	100-240V ～ 50/60Hz 4.5A	100-240V ～ 50/60Hz 5.0A
	最大消費電力	400W(OPS 含まず)	450W (OPS 含まず)	500W (OPS 含まず)
	消費電力 (スリープ時)	0.5W 以下		
重量と寸法	本体重量	40.65 (kg)	53.75 (kg)	68.60 (kg)
	梱包状態の重量	51.20 (kg)	69.35 (kg)	85.10 (kg)
	本体寸法 (W)x(D)x(H)	1489 x 906 x 87 (mm)	1709 x 1029 x 88 (mm)	1957 x 1169 x 86 (mm)
	梱包寸法 (W)x(D)x(H)	1628 x 208 x 1005 (mm)	1863 x 225 x 1148 (mm)	2110 x 225 x 1291 (mm)
Android 仕様	システムバージョン	Android 11		
	CPU	A73 x4 + A53 x4 (4 Core+4 Core)		
	GPU	Mali-G52 MP8		
	メモリー / ストレージ	8GB/128GB		
動作環境	温度 (動作時)	0℃ ~ 40℃		
	温度 (保管時)	-20℃ ~ 60℃		
	湿度 (動作時)	10% ~ 90%RH		
	湿度 (保管時)	10% ~ 90%RH		
	高度	5000 メートル以下		
壁掛け金具	型番	WIB9060G 116MM		
	VESA 規格	600 x 400 (mm)	800 x 400 (mm)	800 x 600 (mm)
	ネジサイズ	M8/25(mm)		
PC モジュール (オプション)	CPU 世代	Intel@ Core ™ 12th Generation		
	CPU	i5-12450H (8 core)		
	GPU	Intel® UHD Graphics for 12th Gen Intel® Processors		
	Audio	Integrated High Definition Audio Stereo		
	メモリー / ストレージ	16GB DDR4 3200MHz/256GB SSD		
	OS	Windows 11 Pro 64bit		
付属品	タッチペン (2 本)/ リモコン (1 個)/ 説明書 / 保証書 / 電源ケーブル (3.0 メートル)/ 壁掛け金具 / スタンド固定用ネジ 2 本			

26. 知的財産権と著作権についての注意事項

本製品のハードウェア設計とソフトウェアプログラムは著作権で保護されており、当社の許可なく製品や説明書の内容を複製すると、法的責任を負うことになります。
本説明書の内容や画像は参考のためであり、実際の製品と異なるがあります。当社は製品の外観設計を改善または変更する権利を留保し、取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更する場合があります。

27. お問い合わせ窓口

営業時間： 平日10:00-18:00（祝日及び12月30日～1月3日を除く）
電話番号： 050-8894-4665
Eメール： iss-support@inclo.co.jp

inclo株式会社
〒101-0033
東京都千代田区神田岩本町1番地岩本町ビル8階88号室